

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第30週 > 咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した / その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-7

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第30週の報告数は117例であり、累積報告数は1,533例であった



病原体情報
P.8-11

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2008年 / 麻疹ウイルス 2008年 / ヘルパンギーナ患者から検出されているコクサッキーウイルス 2008年



速報
P.12-18

腸チフス 2007年 / 日本紅斑熱による死亡例の発生について / 小田原市における第2期麻しん風しん予防接種の接種勧奨の取り組みについて / 大阪府におけるエンテロウイルス検出状況、2008年4月～7月



海外感染症情報

< 今週は該当記事はありません >



感染症の話
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(30週)
P.20-25



30週のデータ
P.26-38



発生動向総覧

2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

< 第30週コメント > 7月30日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核231例

3類感染症

コレラ1例

感染地域: フィリピン

細菌性赤痢14例

感染地域: 福岡県11例*、神奈川県1例、インドネシア2例

*飲食店における集団発生

腸管出血性大腸菌感染症117例(有症者73例、うちHUS 1例)

感染地域: 国内117例

国内の多い感染地域: 岩手県9例、大阪府9例、福岡県8例、兵庫県7例、広島県7例、山形県6例

年齢群: 1歳(2例)、2歳(6例)、3歳(6例)、4歳(5例)、5歳(8例)、6歳(3例)、7歳(2例)、8歳(3例)、9歳(2例)、10代(18例)、20代(19例)、30代(16例)、40代(4例)、50代(10例)、60代(6例)、70代(4例)、80代(3例)

血清型・毒素型: O157 VT2(37例)、O157 VT1・VT2(37例)、O26 VT1(13例)、O157 VT1(5例)、O111 VT1(3例)、O121 VT2(3例)、O25 VT1(1例)、O91 VT1(1例)、O111 VT1・VT2(1例)、その他・不明(16例)

腸チフス2例

感染地域: 大阪府1例、インドネシア1例

パラチフス1例

感染地域: インドネシア/タイ

4類感染症

A型肝炎5例

感染地域: 広島県2例、山口県1例、フィリピン1例、ネパール1例

デング熱1例

感染地域: タイ

マラリア2例

三日熱1例__感染地域: パキスタン

熱帯熱1例__感染地域: シエラレオネ

レジオネラ症7例(肺炎型6例、ポンティアック型1例)

感染地域: 埼玉県2例、宮城県1例(温泉)、静岡県1例、愛知県1例、京都府1例、広島県1例

年齢群: 10代(1例)、50代(2例)、60代(2例)、80代(2例)

5類感染症

アメーバ赤痢10例(腸管アメーバ症6例、腸管外アメーバ症2例、腸管及び腸管外アメーバ症2例)

感染地域: 愛媛県2例、宮城県1例、東京都1例、富山県1例、愛知県1例、兵庫県1例、山口県1例、徳島県1例、国内(都道府県名不明)1例

感染経路: 経口感染1例、性的接触2例(同性間2例)、経口感染/性的接触(異性間・同性間不明)1例、不明6例

急性脳炎1例 病原体不明__年齢群: 9歳

後天性免疫不全症候群8例(AIDS 3例、無症候3例、その他2例)

感染地域: 国内7例、タイ1例

感染経路: 性的接触6例(異性間2例、同性間4例)、不明2例

梅毒5例(早期顕症I期2例、早期顕症II期2例、無症候1例)

破傷風3例 年齢群: 70代(2例)、80代(1例)

麻しん53例〔麻しん(検査診断例17例、臨床診断例30例)、修飾麻しん(検査診断例6例)〕

感染地域: 国内53例

国内の多い感染地域: 神奈川県11例、千葉県8例、東京都7例、兵庫県4例、埼玉県3例、愛知県3例

年齢群: 0歳(7例)、1歳(4例)、2歳(2例)、3歳(2例)、4歳(1例)、5~9歳(2例)、10~14歳(10例)、15~19歳(10例)、20~24歳(4例)、25~29歳(6例)、30~34歳(4例)、40代(1例)

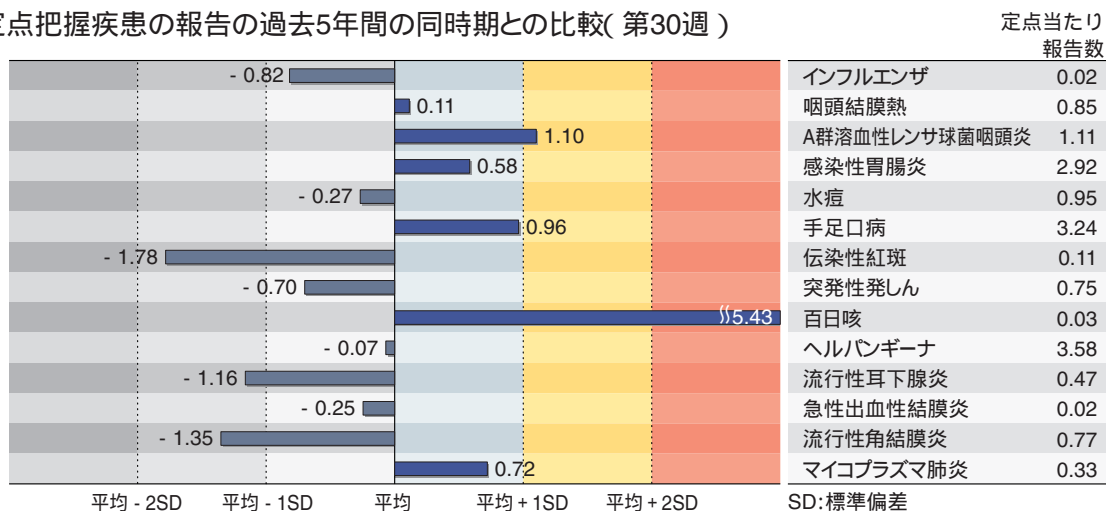
累積報告数: 10,442例〔麻しん(検査診断例2,970例、臨床診断例6,566例)、修飾麻しん(検査診断例906例)〕

(補)他に2008年第29週までに診断されたものの報告遅れとして、E型肝炎1例〔感染地域(感染源): インド(不明)〕、日本紅斑熱2例〔感染地域: 千葉県1例、和歌山県1例)、ブルセラ症1例〔感染地域(感染源): ペルー(不明)〕、急性脳炎2例〔麻しんウイルス1例(10代)、病原体不明1例(4歳)〕、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例(遺伝子型: 不明2例__菌検出検体: 胸水1例、ペースメーカーシース先1例)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第30週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は第22週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(1.07)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症は237例の報告があり、報告数は微増した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では鹿児島県(2.45)、愛媛県(2.24)、新潟県(1.70)、東京都(1.56)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では鳥取県(1.74)、山口県(1.74)、山形県(1.73)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第22週以降減少が続いている。都道府県別では大分県(5.8)、宮崎県(5.7)、福井県(5.5)が多い。

水痘の定点当たり報告数は25週以降減少が続いている。都道府県別では愛媛県(1.81)、福井県(1.77)、千葉県(1.56)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では三重県(10.0)、石川県(9.5)、富山県(8.5)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では石川県(0.41)、新潟県(0.38)、山形県(0.30)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(0.15)、長野県(0.09)、愛媛県(0.08)が多い。

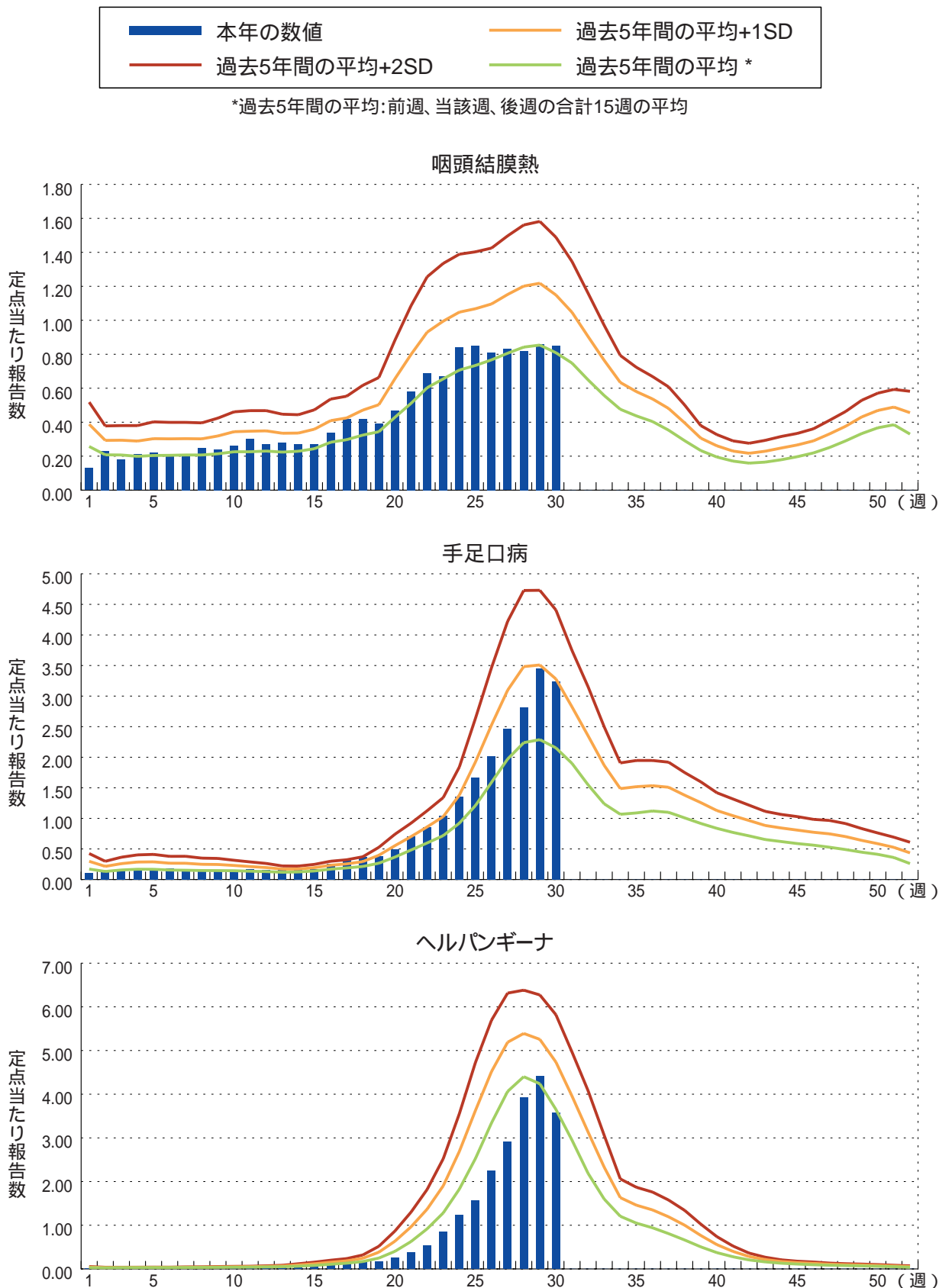
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では長野県(9.0)、愛媛県(6.8)、埼玉県(6.1)、山形県(5.9)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では佐賀県(2.57)、宮崎県(1.64)、岐阜県(1.17)、高知県(1.17)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では沖縄県(2.57)、福島県(1.29)、富山県(1.20)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2008年第1~30週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症 (2008年7月30日現在)

2008年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、第11(~ 13)週にオーストラリアへ修学旅行に行った高校生がO26 VT1に感染した計76例の報告が佐賀県からあり、一時的に増加した。その後は、第18週から徐々に増加し始め、第24週(6月9日 ~)に急増して1週間当たりの報告数が100例を超え、以降はほぼ100 ~ 150例で推移している。第30週の報告は117例であり、第30週までの累積報告数1,533例は、2000年以降では6番目に多い(2000年1,436例、2001年2,030例、2002年1,555例、2003年1,126例、2004年1,525例、2005年1,570例、2006年1,560例、2007年1,802例)。

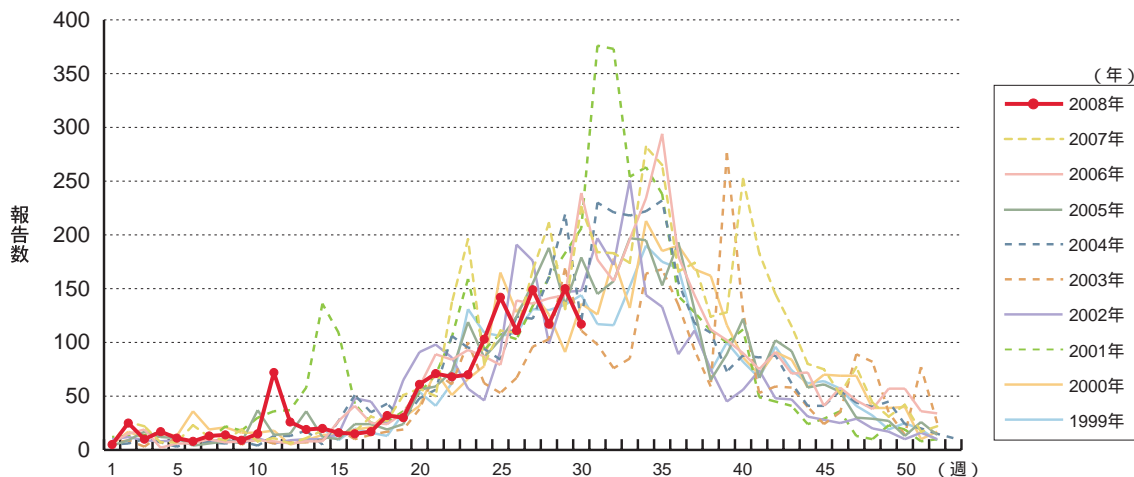
第30週(7月21 ~ 27日診断のもの)の報告117例は、患者(有症状者)が73例(62%)で、無症状病原体保有者44例(38%)であった。31都道府県から報告があり、都道府県別では、岩手県(9例)、大阪府(8例)、兵庫県(8例)、福岡県(8例)、東京都(7例)、広島県(7例)が多かった。感染地域はすべて国内で、都道府県別では、岩手県(9例)、大阪府(9例)、福岡県(8例)、兵庫県(7例)、広島県(7例)が多かった。岩手県では複数の家族内発生により報告が増加した。性別では男性43例、女性74例であり、年齢群別では0 ~ 9歳37例、20 ~ 29歳19例、10 ~ 19歳18例の順に多かった。

第1 ~ 30週(2006年12月31日 ~ 2007年7月27日診断のもの)の累積報告1,533例は、患者が1,039例(68%)、無症状病原体保有者が494例(32%)であった。すべての都道府県から報告があり、報告の多い都道府県は、東京都(104例)、大阪府(89例)、福岡県(86例)、佐賀県(85例)、神奈川県(82例)、京都府(75例)であった。感染地域は国内が1,441例、国外が91例、国内か国外か不明が1例であり、国内の都道府県別では、大阪府(88例)、東京都(80例)、京都府(76例)、福岡県(76例)の順に多かった。性別では男性696例、女性837例であり、年齢群別では0 ~ 9歳456例(うち有症者358例 : 78.5%)、10 ~ 19歳290例(同223例 : 77%)、20 ~ 29歳238例(同176例 : 74%)の順に多かった。

溶血性尿毒症症候群(HUS)は、第30週までに24例報告があった。24例のうち7例は、菌は分離されなかったが、血清抗体の検出により届け出られたものである。都道府県別では、17都道府県(東京都5例、秋田県2例、大阪府2例、愛媛県2例、北海道、群馬県、新潟県、石川県、福井県、三重県、京都府、和歌山県、徳島県、香川県、高知県、鹿児島県、沖縄県各1例)から報告があった。年齢は0 ~ 4歳が10例、5 ~ 9歳が6例、10代が7例、50代が1例となっており、24例中21例が15歳未満の小児であった。前週の集計(7月23日)以降に新たに報告された2例は、第29週に診断された6歳(香川県からの報告、O血清群 : O157(血清抗体による診断)、感染源 : 不明)及び、第30週に診断された6歳(福井県からの報告、O血清群 : 不明、感染源 : 不明)である。24例中7例では生肉・生レバーが感染源とされていた(以前のHUS症例の報告については、感染症週報2008年第29号「注目すべき感染症」を参照)。

また、第27週には、基礎疾患に腎臓病を持った60代女性患者(O157 VT2)の死亡例が報告されている。

図. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別発生状況(1999年14週～2008年第30週)



腸管出血性大腸菌感染症は、わが国において、毎年約3,000～4,500例の報告が続いている疾患である。本年は、2000年以降の同時期までの発生数との比較では、平均的な発生状況といえるが、重症の合併症であるHUSは24例の報告があり、基礎疾患の悪化による死亡例も1例報告されている。

例年の発生状況からは、今後報告のピークの時期を迎えると考えられる。患者・感染者を増やさないよう、HUS症例や死亡者を出さないよう、予防対策の徹底が必要である。食品の取り扱い等の一般的な食中毒対策に加え、特に、小児、高齢者や抵抗力の弱い者などでは、肉・レバーなどはよく加熱し、生食は控えることが肝要である。また、患者・無症状病原体保有者から周囲の人々への感染が起こりやすい疾患なので、手洗いの励行等の二次感染予防対策の一層の徹底が重要である。

(補) 腸管出血性大腸菌感染症については、

週報IDWR

- ・ 感染症の話 : http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k02_g1/k02_06/k02_06.html
- ・ 注目すべき感染症
 - 第25号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-25.pdf>
 - 第27号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-27.pdf>
 - 第29号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-29.pdf>
- ・ 速報「修学旅行先において腸管出血性大腸菌(EHEC)O26に感染したと思われる事例 - 佐賀県」 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-20.pdf>
- ・ 速報「焼肉店が原因施設とされた腸管出血性大腸菌O157:H7食中毒事例 - 福井県」 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-21.pdf>

月報IASR

- ・ <特集> : <http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/339/tpc339-j.html>
- 菌の検出状況 : <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-lj.html>

などもご参照ください。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

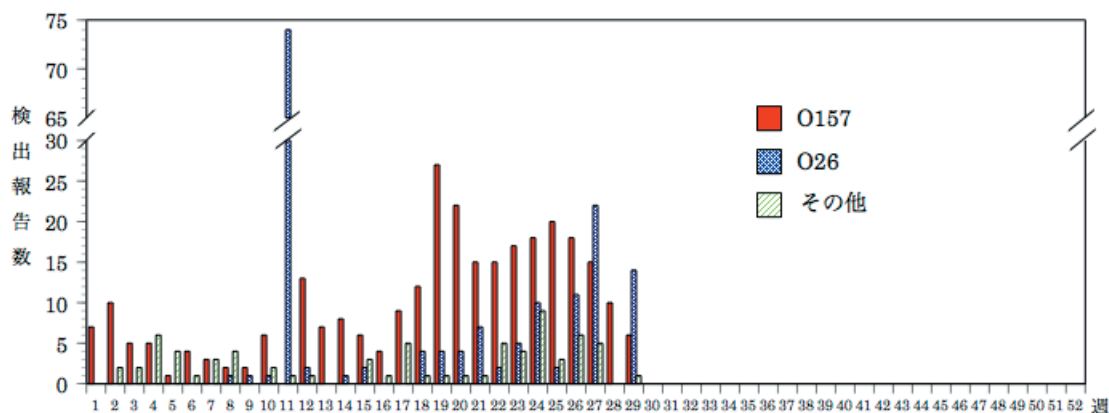
(2008年7月31日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2008年

2008年の検出総数は527件で、O157が287件、O26が168件、その他の血清型が72件報告されている。O157は大阪府31件、岐阜県28件、奈良県、福岡県各17件、東京都、富山県各16件、愛媛県15件、群馬県、静岡県各13件、石川県、広島県各11件、長野県、滋賀県各10件、大分県9件、山形県、三重県各8件、山口県7件、宮城県、新潟県各6件など31都道府県から報告されている。O26は佐賀県76件、富山県36件、静岡県7件、宮城県、群馬県、新潟県各6件など19都県から、その他の血清型は福岡県17件、群馬県、石川県各8件、東京都6件など20都道府県から報告されている。

直近の4週間に発生した集団事例では、第26～29週に富山県で保育園児と家族からO26が33件検出されている。

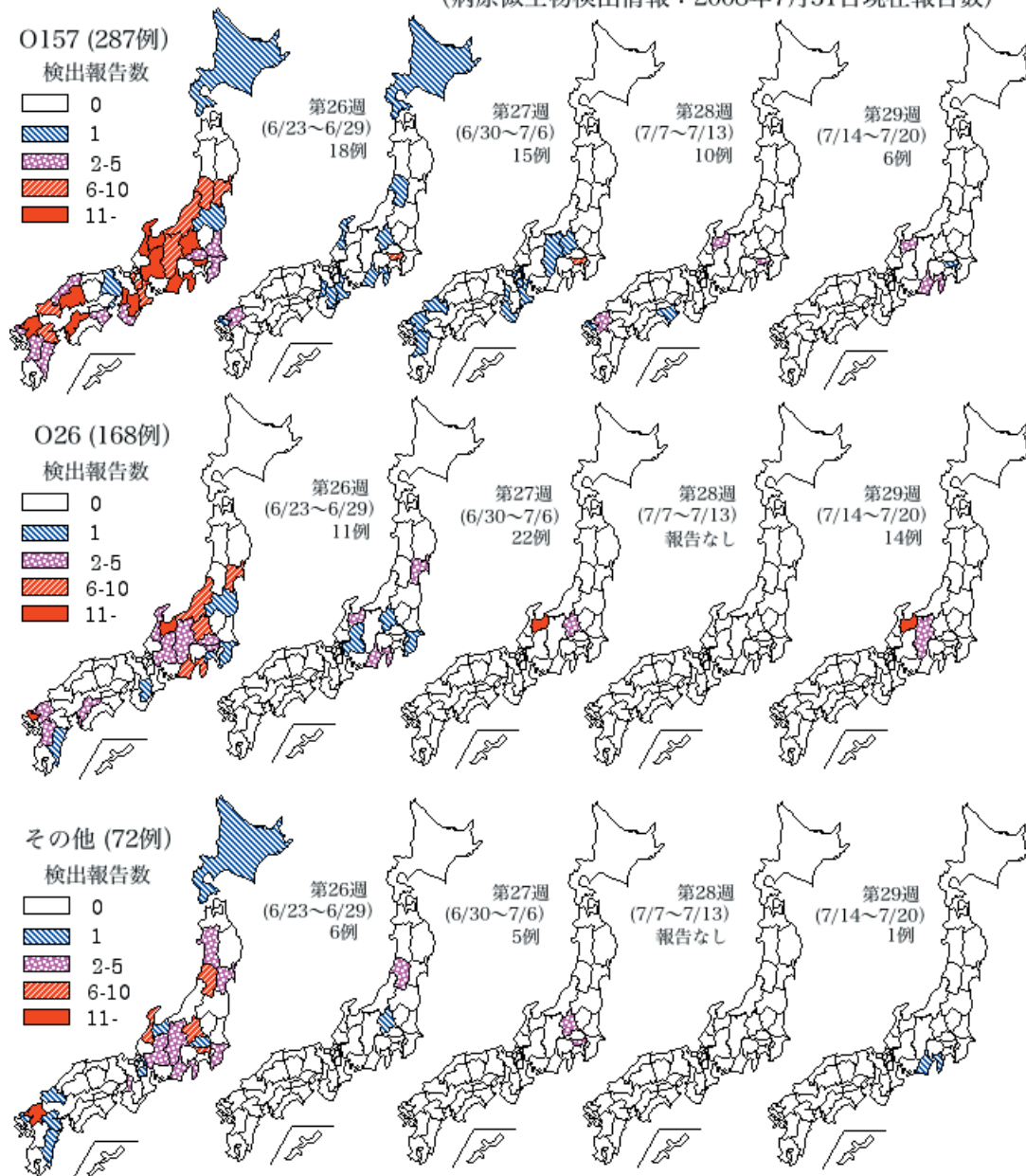
週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2008年 (病原微生物検出情報: 2008年7月31日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



週別都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2008年
(病原微生物検出情報：2008年7月31日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

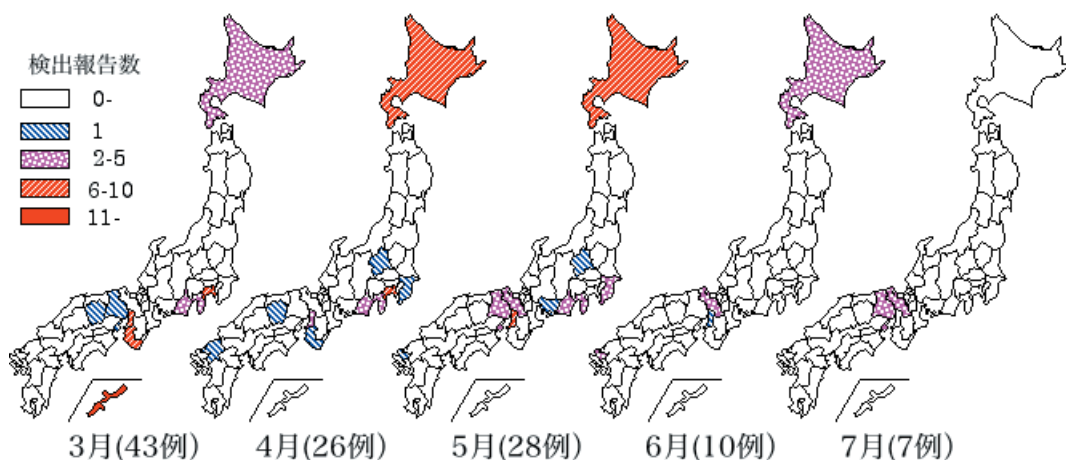
IASR

Infectious Agents Surveillance Report

麻疹ウイルス 2008年

2008年1～7月に秋田県25件、北海道20件、大阪府19件、神奈川県、兵庫県各17件、沖縄県16件、京都府9件、静岡県、和歌山県各7件、千葉県6件、群馬県、埼玉県各4件、佐賀県3件、石川県、岡山県、熊本県各2件、東京都、山梨県、愛知県、三重県、島根県、福岡県各1件、計166件の麻疹ウイルスの分離・検出が報告されている。このうち、遺伝子型別まで実施された116件中107件ではD5型が検出されており、他にはH1型5件(3月大阪府3件、5月千葉県2件、いずれも渡航歴無し)、A型4件(ワクチン接種後2週間以内に採取された検体から)が検出されている(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/measles.html>)。

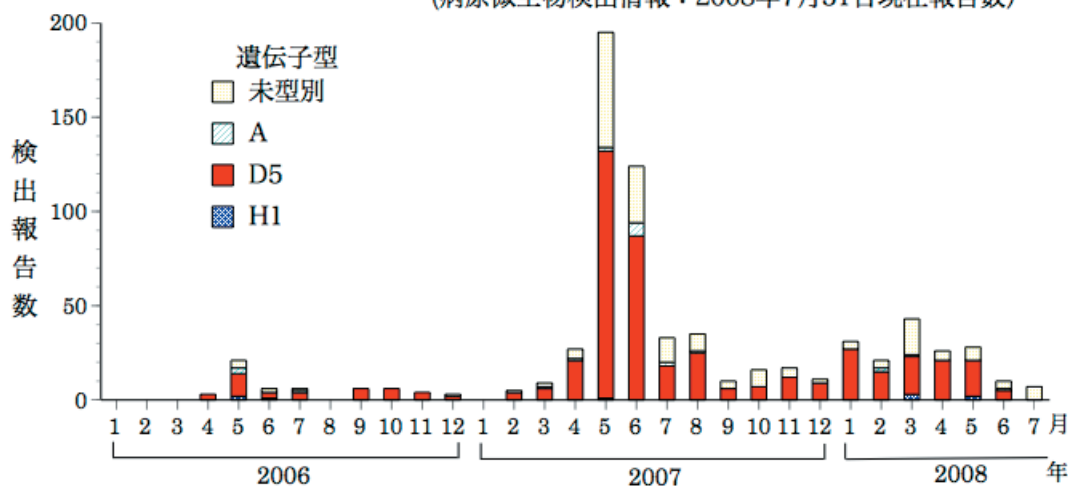
月別都道府県別麻疹ウイルス分離・検出報告状況、2008年3月～7月
(病原微生物検出情報：2008年7月31日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2006年1月～2008年7月
(病原微生物検出情報：2008年7月31日現在報告数)



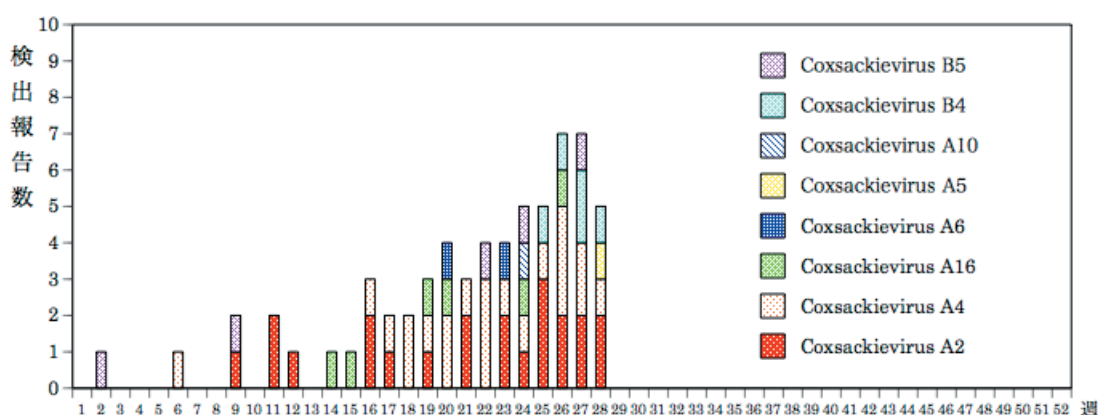
*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



ヘルパンギーナ患者から検出されているコクサッキーウイルス 2008年

2008年の分離・検出はまだ少ないが、第28週までにA群コクサッキーウイルス(CA)型が島根県8件、滋賀県5件、愛知県4件など8府県で計22件、CA4が佐賀県7件、福岡県3件、京都府、島根県、高知県、大分県各2件など9府県で計21件、CA16が三重県2件など5府県で計6件、CA6が千葉県で2件、CA5が神奈川県で1件、CA10が埼玉県で1件、B群コクサッキーウイルス(CB)型が大阪府で5件(本号18ページ「速報」参照)、CB5が5府県で計5件検出されている。

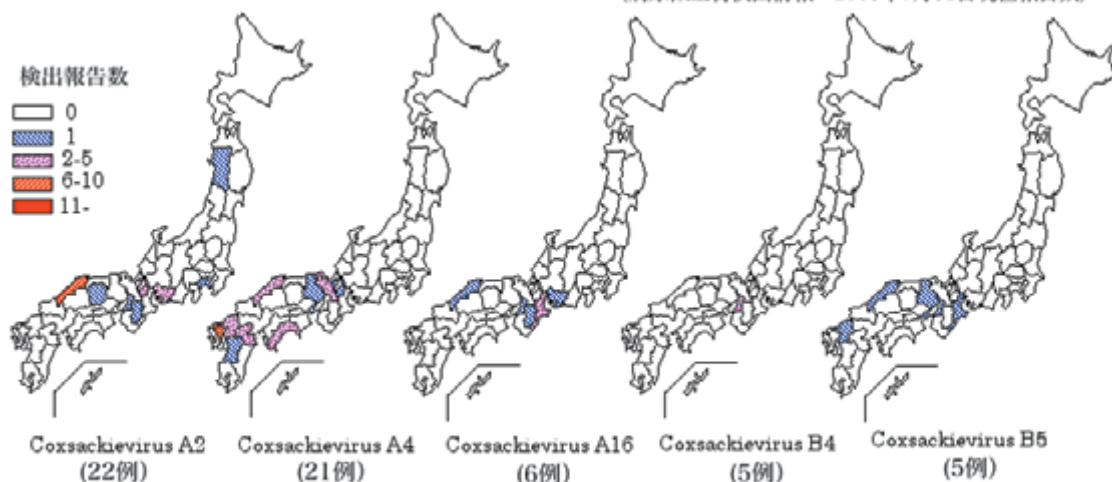
週別ヘルパンギーナ患者からのコクサッキーウイルス分離・検出報告数、2008年
(病原微生物検出情報: 2008年7月31日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



都道府県別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離・検出報告状況、2008年
(病原微生物検出情報: 2008年7月31日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した





腸チフス 2007年 (2008年5月17日現在)

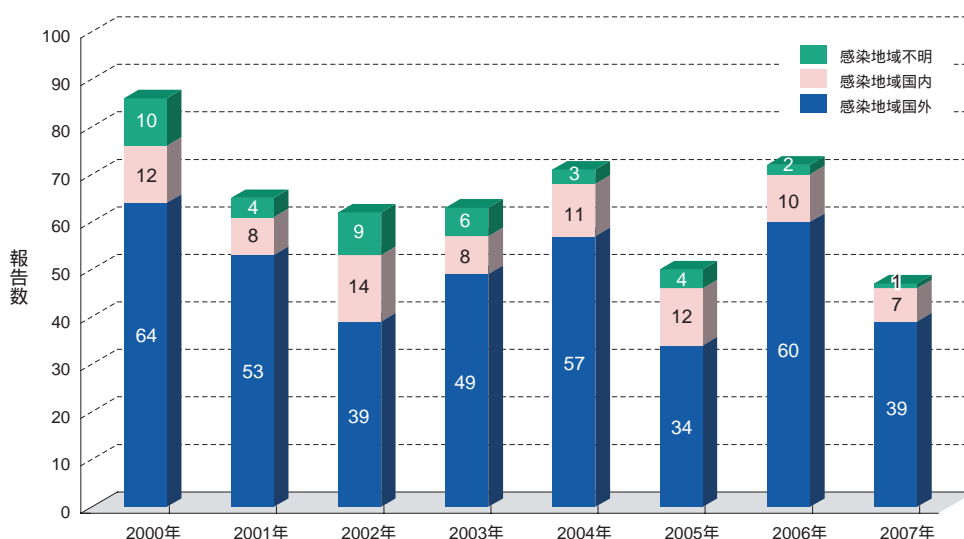
腸チフスはチフス菌 (*Salmonella Typhi*) の感染によって起こる全身性疾患である。チフス菌の感染はヒトに限って起こるので、患者および無症状病原体保有者の便と尿、およびそれらに汚染された食品、水、手指が感染源となる。通常は1～3週間の潜伏期の後、39～40 の発熱が出現する。主要症状は高熱の持続で、他に特記すべき症状はないことが多い。比較的徐脈(高熱のわりに脈拍数が増えない)、バラ疹(高熱時に出現し、数時間で消える)、脾腫が3主徴とされているが、これらの出現率は30～50%程度である。下痢は半数程度で、便秘もみられることがある。合併症として腸出血、腸穿孔があるが、ニューキノロン系薬が使用されるようになってからは稀である。しかし最近、ニューキノロン系薬低感受性の症例の増加が問題となっている(病原微生物検出情報IASR vol.26 No.4 p89-90 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/26/302/dj3021.html>)。また、適切な治療がなされないと、再発・再燃や慢性のチフス菌保菌者になることがある。

腸チフスは1999年4月施行の感染症法に基づく2類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届出が、診断した全ての医師に義務づけられた。その後、2007年4月施行の法改正により3類感染症に変更され、現在は患者(有症状者)及び無症状病原体保有者が届出対象(疑似症患者は対象外)である。無症状病原体保有者は、発見された患者と食事や渡航を共にした者に対する調査などによって発見されるほか、他の疾患に伴う検査や、健康診断などにおいて発見されている。

2007年の報告数(診断週が2007年第1～52週のもので、2008年5月17日までに報告されたもの)は47例であった。感染症法施行以降の過去の年間報告数は、1999年(4月～)72例、2000年86例、2001年65例、2002年62例、2003年63例、2004年71例、2005年50例、2006年72例であり、2007年は最も少なかった(図1)。

2007年の47例は、患者(有症状者)43例、疑似症患者1例、無症状病原体保有者3例であり、無症状病原体保有者3例は、胆石・胆のう炎の手術時、パラチフスと診断された患者の再検査時、健康診断時に発見されていた。死亡例の報告はなかった。

図1. 腸チフスの年別・感染地域別報告数(2000～2007年)
(2000～2007年3月の疑似症患者を含む)



疑似症患者を除く46例は、男性26例、女性20例で、年齢中央値28歳(1～86歳)であった。確定または推定として報告された感染地域は、国内7例、国外38例、不明1例であった。

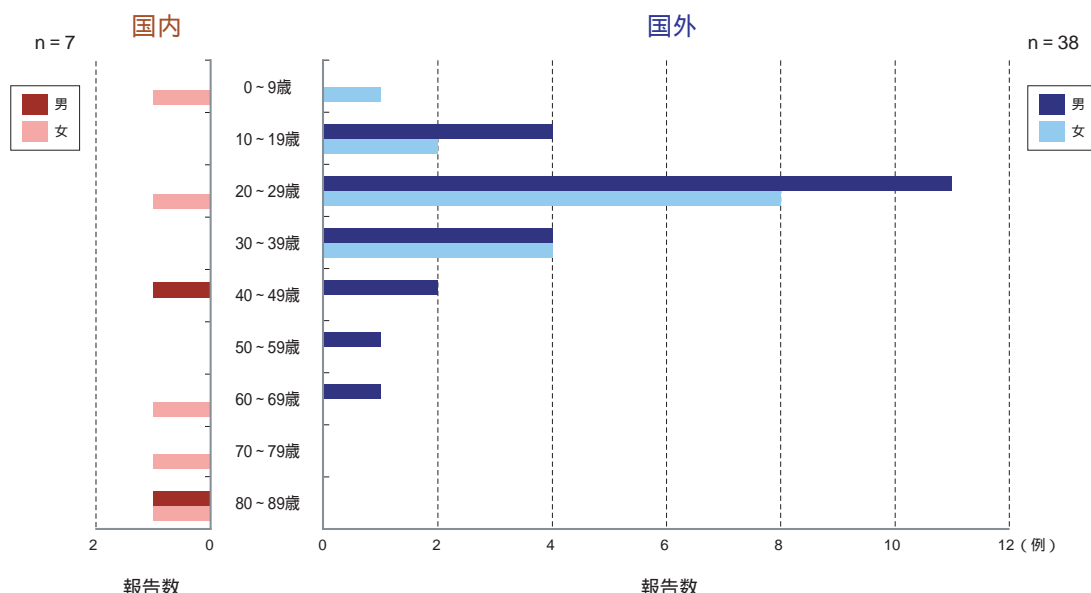
患者43例で報告された症状をみた。届出様式に症状として挙げられているものでは、高熱40例、下痢30例、比較的徐脈10例、脾腫10例、バラ疹3例、便秘2例、胆石2例、腸出血1例、意識障害1例であった。またその他の症状として、排尿痛、肝障害、全身倦怠感、上行結腸の肥厚、外陰部潰瘍、嘔気などの記載があった。

病原診断は細菌培養により行われているが、検体の種類をみると、患者(43例)では血液および便2例、血液31例、便8例、尿1例、胆汁1例であった。無症状病原体保有者(3例)では便2例、胆汁1例であった。また、パラチフスとの混合感染(感染国:インド/ベトナム/カンボジア/中国)が1例報告された。この症例は、当初パラチフス患者として届け出られ、その後の検査で腸チフス菌が分離されたものであった。

国内を感染地域とする7例(患者6例、無症状病原体保有者1例)の性別では、男性2例、女性5例であり、年齢群別では、10歳未満1例、20代1例、40代1例、60代1例、70代1例、80代2例(年齢中央値66歳)であった(図2)。患者6例のうち、発症月の記載があった5例の発症月は、1、2、3、7、8月であった(図3)。また、いずれも散発例であり、感染源は特定されなかった。

国外を感染地域とする38例(患者36例、無症状病原体保有者2例、疑似症患者1例は除く)の性別では、男性23例、女性15例であり、年齢群別では、10歳未満1例、10代6例、20代19例、30代8例、40代2例、50代1例、60代1例(年齢中央値27歳)で、特に20代、次いで30代、10代の順に多かった(図2)。患者36例のうち、発症月の記載があった35例の発症月をみると、9月(8例)、7月(5例)が多かった(図3)。また、患者及び無症状病原体保有者(38例)の感染地域別では、南アジアが20例(インド8例、ネパール7例、バングラデシュ3例、スリランカ1例、インド/ネパール1例)と最も多かった。他は多い順に、東南アジアが14例(インドネシア8例、フィリピン2例、ミャンマー2例、ラオス1例、インドネシア/フィリピン1例)、南米1例(ペルー)、南アジア/東南アジア1例(インド/タイ)

図2. 腸チフスの感染地域別・性別・年齢群別報告数(2007年) n = 45
(疑似症患者1例、感染地域不明1例を除く)



カンボジア) 南アジア/東南アジア/東アジア1例(インド/カンボジア/ベトナム/中国) 国外の地域不明1例(10カ国以上に行っており、特定できず)であった(図4)。

ワクチンとしては、欧米先進国では生ワクチン(経口)と不活化ワクチン(注射)があり、発展途上国への渡航者を対象に接種されている。しかし、わが国ではいずれも未認可である。

予防の基本は感染経路の遮断であり、特に手洗いの励行が重要である。また、流行地への渡航などでは生水、氷、生の魚貝類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが肝要であり、また、無理な旅行日程などによって体調をくずし、抵抗力を落とさないよう心がけることも大切である。

図3. 腸チフスの感染地域別・発症月別報告数(2007年)

n = 40(疑似症患者、無症状病原体保有者、感染地域不明、発症月不明計7例を除く)

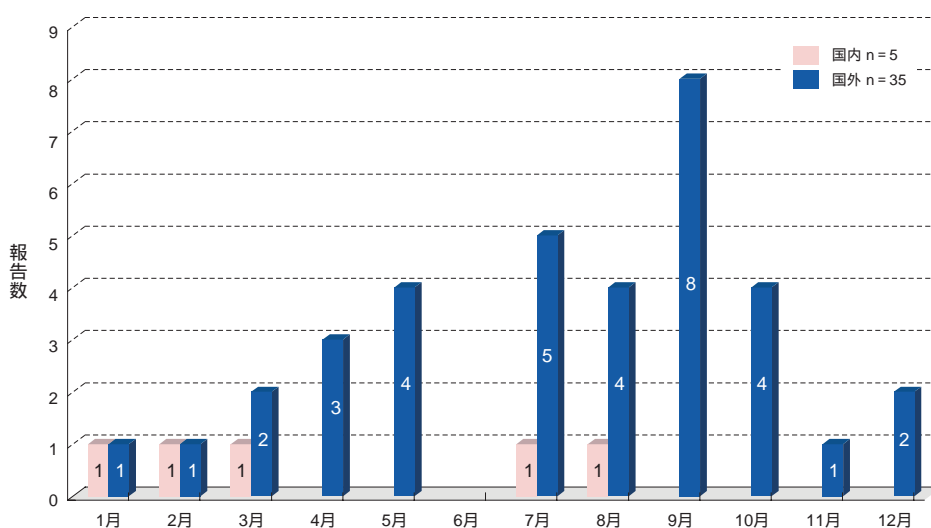
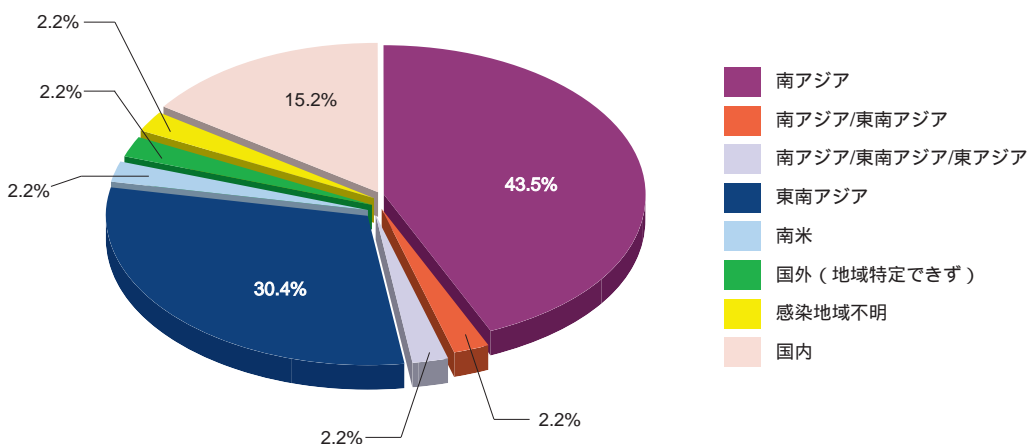


図4. 腸チフスの感染地域割合(2007年)

n = 46(疑似症患者1例を除く)



日本紅斑熱による死亡例の発生について

厚生労働省健康局結核感染症課

今般、国内で高熱と発疹を主徴とし、その後多臓器不全により死亡した患者1名が、*Rickettsia japonica*による日本紅斑熱と診断されたことから、厚生労働省では、このダニによる感染症に関する感染予防に関する注意喚起を行っています。

日本紅斑熱は、病原体を保有したダニからの刺咬によって感染し、一般的に2～10日間の潜伏期間の後に高熱、発疹、刺し口を主徴とした症状を呈します。ダニが多く生息する野山、畑、草むら等に出かけられる際には、ダニからの刺咬を受けないように次の注意をしてください。また、本病は早期診断と早期治療が重要です。本病が疑われる場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

<ダニからの刺咬を受けないための注意事項>

- 長袖、長ズボンなどで肌の露出を少なくし、防虫スプレーを使用する。
- 草むらや地面に直接座ったり、衣服を置いたりしないようにする。
- 帰宅後はすぐに入浴するなど、体についたダニを落とし、新しい服に着替える。

日本紅斑熱について

マダニによって媒介される日本紅斑熱リケッチア*Rickettsia japonica*を原因とする急性熱性発疹症。感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律において四類感染症に規定されている。

臨床的には、2～10日の潜伏期間の後、高熱、発疹、刺し口を主徴候とし、ツツガムシ病に類似するが、ツツガムシ病より重症化しやすいといわれている。急性期には39～40以上の発熱を示すこともある。

感染症法の施行(1999年)以降、毎年数十例の感染者が報告されており、重症例や死亡例も報告されている。近年発生数や発生地域が拡大の傾向にあり、特に、関東以西の太平洋側地域で多く発生するが、その他の地域での発生も確認されている。

診断・治療

野山や田畑への立ち入りの既往を注意深く聞き取るほか、血清診断、PCR法により血中の病原体DNAを検出する方法も利用可能。

治療にはテトラサイクリン系抗生物質が第一選択薬として用いられ、特に重症例ではテトラサイクリンとニューキノロン薬の併用療法が提唱されている。

参考文献

- 1 日本紅斑熱 - 臨床の最前線 - ダニと新興再興感染症(全国農村教育協会) p.113-118
- 2 日本紅斑熱の治療 - 重症例、死亡例の検討と併用療法の有用性
病原微生物検出情報 Vol.27 No2 p.37-38、2006
(<http://idsc.nih.gov.jp/iasr/27/312/dj3128.html>)
- 3 リケッチア感染症(ツツガムシ病、日本紅斑熱) 今日の治療指針2008
(医学書院) p.147-147、2008

麻しん風しん第2期接種率向上の取り組み事例 - 5

第2期麻しん風しん予防接種の接種勧奨の取り組みについて

小田原市福祉健康部健康づくり課(保健センター内)健康推進担当

昨(2007)年度、小田原市における第2期麻しん風しん予防接種の接種率は約97%であった。一昨年度と比較すると、接種率が10%以上上昇しており、麻しんの予防接種を2回行うことに対し、市民の周知度が広まってきたものと思われる。

当市では、昨年度、接種勧奨の取り組みを以下のように行った。

第一に、対象者の保護者に対し、7月頃にチラシを配布。第二に、同じく対象者の保護者に対し、年明け1月頃にハガキを送付。第三に、市報、ホームページ及び「健康カレンダー」への掲載。第四に、健診時における口頭での勧奨。そのほか、麻しん予防接種の特別措置を行った。

1. 7月頃のチラシの配布

対象者が幼稚園・保育園等の年長児であるため、接種如何に関わらず、市内各園の年長児全員に対し、A4サイズ1枚程度のチラシを配布した。当市の対象人数から述べると、およそ2,000枚近くを配布している。

2. 年明け1月頃のハガキの送付

これは未接種者に対し個別に郵送しているものである。当市では、各種健康診査や予防接種歴などの情報を「健康情報システム」というシステムを用いてコンピュータ管理をしている。このシステムを用いて予防接種の未接種者を導き出し、当該年度中に接種していただけるよう、個別通知をしているものである。

3. 市報への掲載

当市では、毎月1日(主に政策的な情報を掲載)と15日(主にお知らせを掲載)に広報紙を発行しており、機会を捉えて周知をするようにしている。昨年度は、春先の4月15日号と5月15日号に、麻しん、風しん予防接種が2回に増えた旨及び対象者への接種勧奨について掲載し、そのほか6月1日号にも麻しんの流行についての記事を掲載した。また、市のホームページ上でも、接種勧奨を行っている。

ほかに、「健康カレンダー」への掲載を行っている。この「健康カレンダー」は、各種健診日時や医療機関の紹介など、当該年度における健康に関する総合的な情報を盛り込んでいる冊子で、毎年1回、年度始めに、市内の各家庭に対し配布しているものである。この中の「子どもの予防接種」のページに、麻しん風しん第2期の対象年齢を記載し、接種勧奨を行っている。

4. 健診時における口頭での勧奨

毎年秋に行う就学時健診の際に行っている。このときには、口頭で勧奨することと同時に、チラシも併せて配布している。

5. その他

当市では、平成19年10月15日から20年3月31日まで、麻しん予防接種の特別措置を実施した。特別措置とは、「小田原市民の2歳から中学校3年生のお子さんで、これまで麻しん予防接種を受

けたことがなく、かつ、麻しんに罹患していない方(ただし第2期対象者は除く)」を対象に、全額公費負担で麻しん予防接種を行ったものである。この特別措置を実施するにあたり、各小中学校や幼稚園・保育園を通じて、通知文を配布し周知を図った。第2期麻しん予防接種における直接的な接種勧奨にはならないものの、麻しん全体の予防接種を促した点から、意義のある取組みであったと思われる。この特別措置を通して、100名を超える方が接種されている。特別措置の推進にあたっては、各医療機関から多大なご協力をいただいた。

以上のように、当市では、顔を合わせた対応とともに、各種文書による通知を組み合わせる接種勧奨を行った。

受け取り手である市民の心に響かなければ、周知を行ったとはいえない。今後も、いかに効果的な接種勧奨を行っていくかが課題となっている。

大阪府におけるエンテロウイルス検出状況、2008年4月～7月

大阪府感染症発生動向調査におけるエンテロウイルス(EV)の検出状況について報告する。

第28週(7/7～7/13)の時点でヘルパンギーナの患者数は前週より増加、手足口病はピークを過ぎており、定点当たりの報告数は4.0、3.5である。昨年同期との比較ではヘルパンギーナ患者数はおよそ1/2、手足口病はおよそ2倍の患者数となっている。

当所では検査結果の迅速な還元のためにウイルス分離に先行してRT-PCR法によりEVの検出を行っている。EVの塩基配列には数カ所の属共通の配列が含まれることから、EVを共通に検出するプライマーが設計され、5' non coding regionの一部からVP4全域およびVP2の一部を含むPCR法¹⁻³⁾およびVP1の一部から2Aの一部を含むPCR法⁴⁻⁶⁾が開発されている。当所では前者の領域を増幅させるPCRを採用している。

検出方法は、患者材料(咽頭ぬぐい液、髄液、糞便乳剤上清)0.2mlからRNA抽出キット(High Pure Viral RNA Kit; Roche)を用いて50 μlのRNA液を得、Seminested PCR法⁷⁾でEV遺伝子の検出を行った。1st PCRにはプライマーOL68-1²⁾(antisense; 5' GGT AAY TTC CAC CAC CAN CC 3')、EVP2⁷⁾(sense; 5' CCT CCG GCC CCT GAA TGC GGC TAA T 3')を用い、逆転写反応42 30分、99 5分の後、94 30秒、55 30秒、72 1分のサイクルを40回行った。2nd PCRにはプライマーOL68-1、EVP4⁷⁾(sense; 5' CTA CTT TGG GTG TCC GTG TT 3')を用い、反応液に1/50量の1st PCR産物を加え、1st PCRと同じ条件で増幅を行った。増幅産物はアガロースゲルから切り出して精製した後、ダイレクトシーケンスにより塩基配列(VP4; 207塩基)を決定し、BLAST(<http://blast.ncbi.nlm.nih.gov/Blast.cgi>)による相同性の検索を行った。

現在まで23名の患者から27株のEVが検出されている。ヘルパンギーナからはB群コクサッキーウイルス(CB)が5株、他4株が検出された。手足口病では4～6歳児からCA16 4株、EV71 2株、他1株が検出されたが、EV71の2名には髄膜炎の症状が認められた。無菌性髄膜炎では4名からCB5が検出されたが、うち3名は0歳児であった。またエコーウイルス(Echo)30が1名から検出された。6月に某保育所で0歳児クラスの9名中4名が発熱、全身発疹の症状を示し、検査を行った2名からEcho 5が検出された。Echo 5はRD-18S、Vero-E6細胞からも分離された。

こうした現況であるが、今シーズンの流行の主流になるようなEVはまだ特定されていないので、今後も監視が必要であると思われる。

【引用文献】

- 1) Hyypia T, et al., J Gen Virol 70: 3261-3268, 1989
- 2) Olive DM, et al., J Gen Virol 71: 2141-2147, 1990
- 3) Chapman NM, et al., J Clin Microbiol 28: 843-850, 1990
- 4) Oberste MS, et al., J Virol 73: 1941-1948, 1999
- 5) Oberste MS, et al., J Clin Microbiol 37: 1288-1293, 1999
- 6) Oberste MS, et al., J Clin Microbiol 38: 1170-1174, 2000
- 7) 石古博昭, 他, 臨床とウイルス 27: 283-293, 1999

大阪府立公衆衛生研究所

山崎謙治 左近直美 中田恵子 加瀬哲男

(IASR 2008年8月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

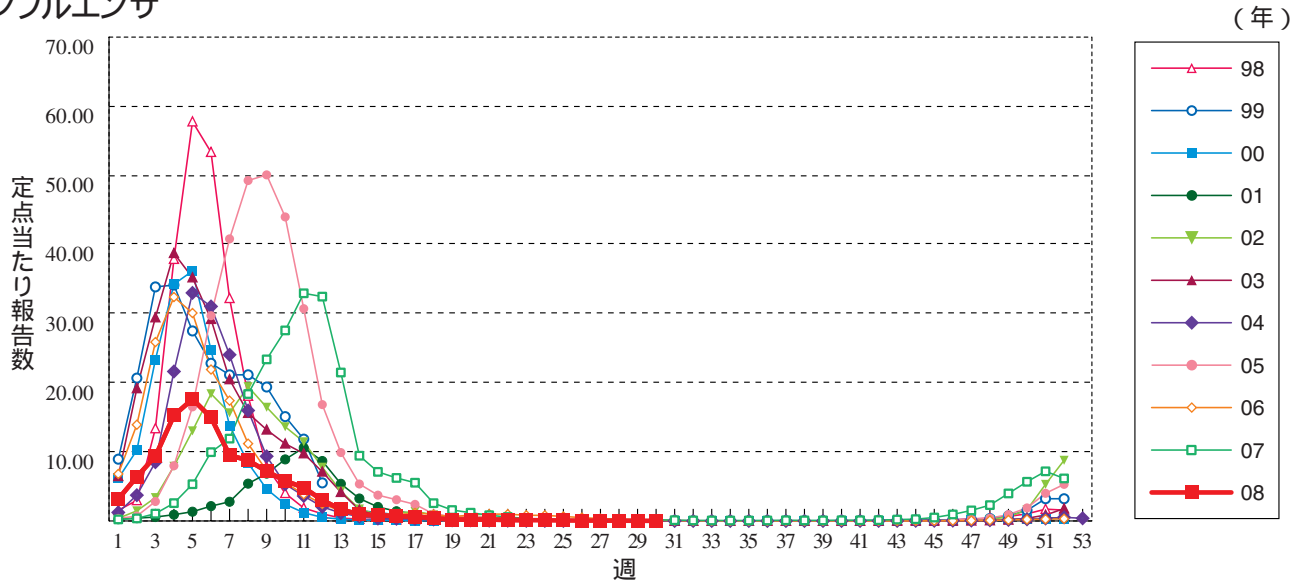


感染症の話

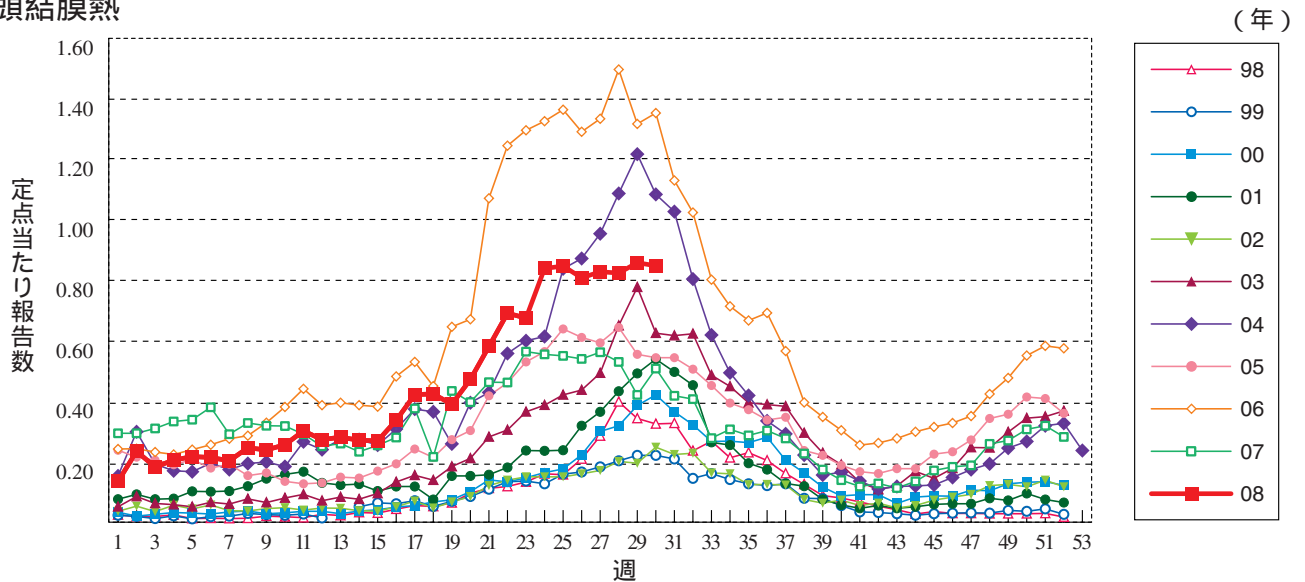
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(30週)

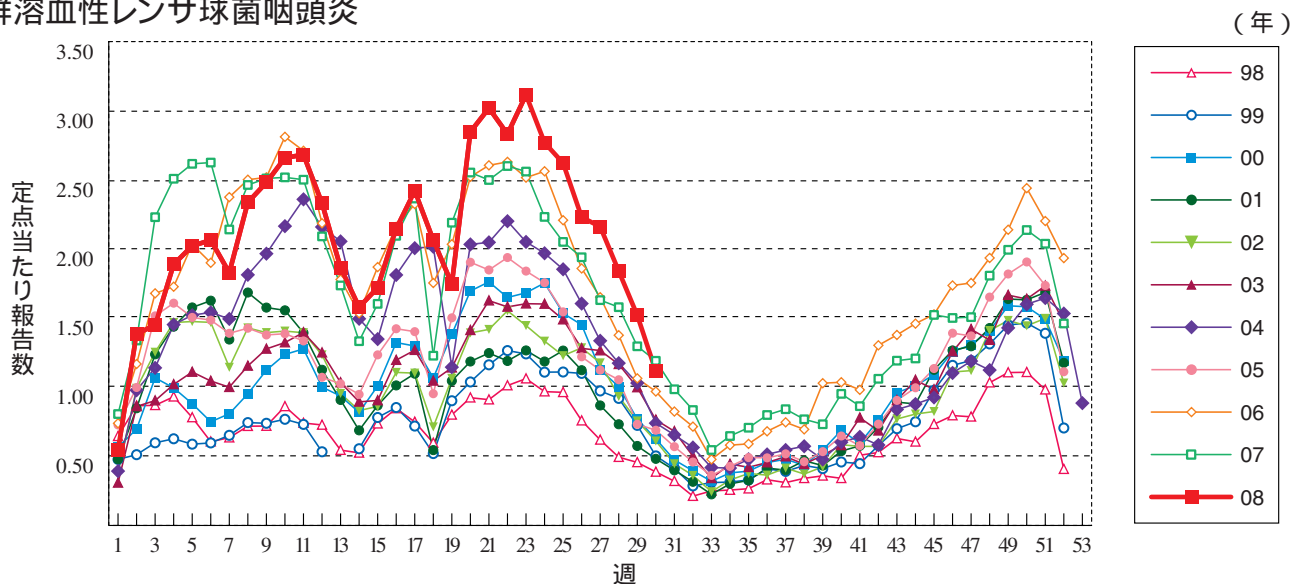
インフルエンザ



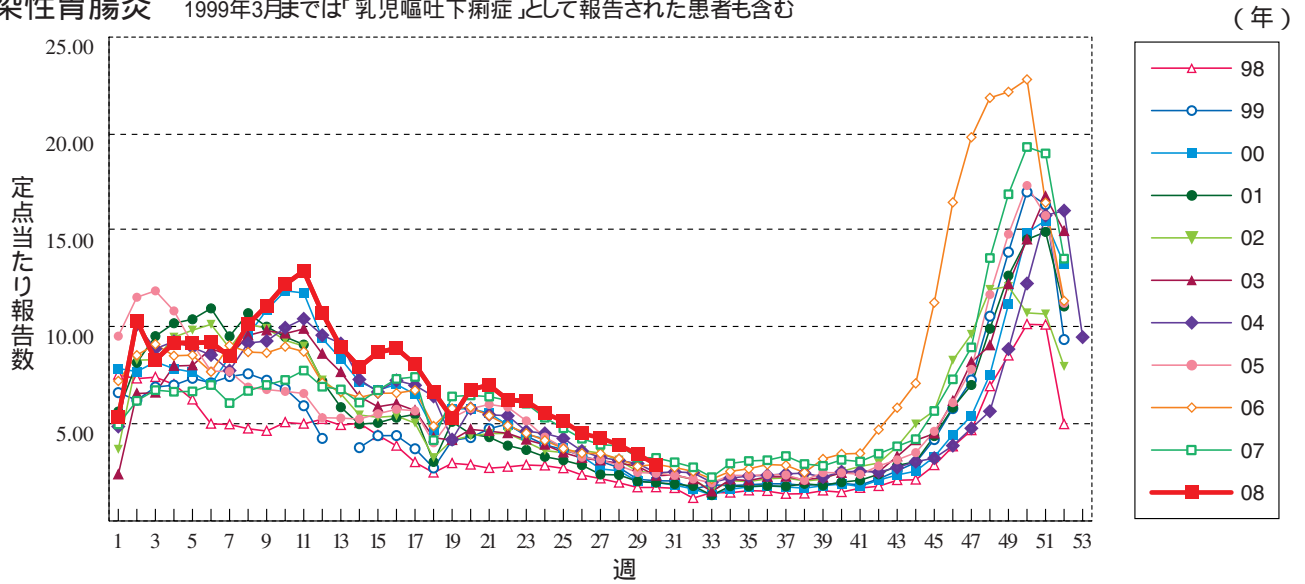
咽頭結膜熱



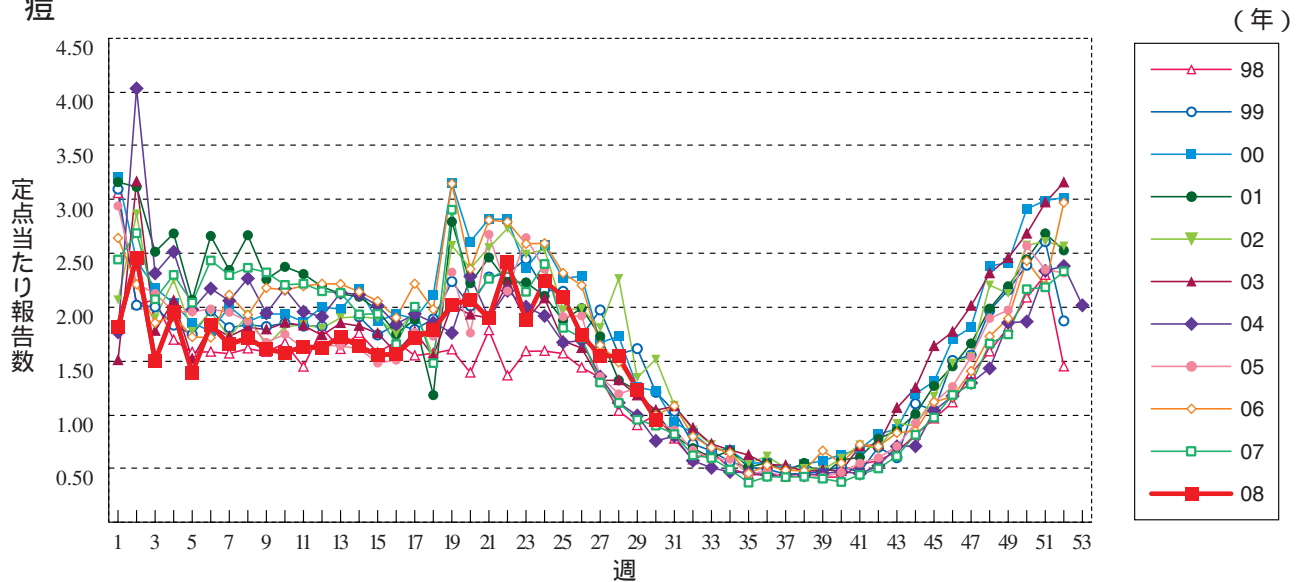
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



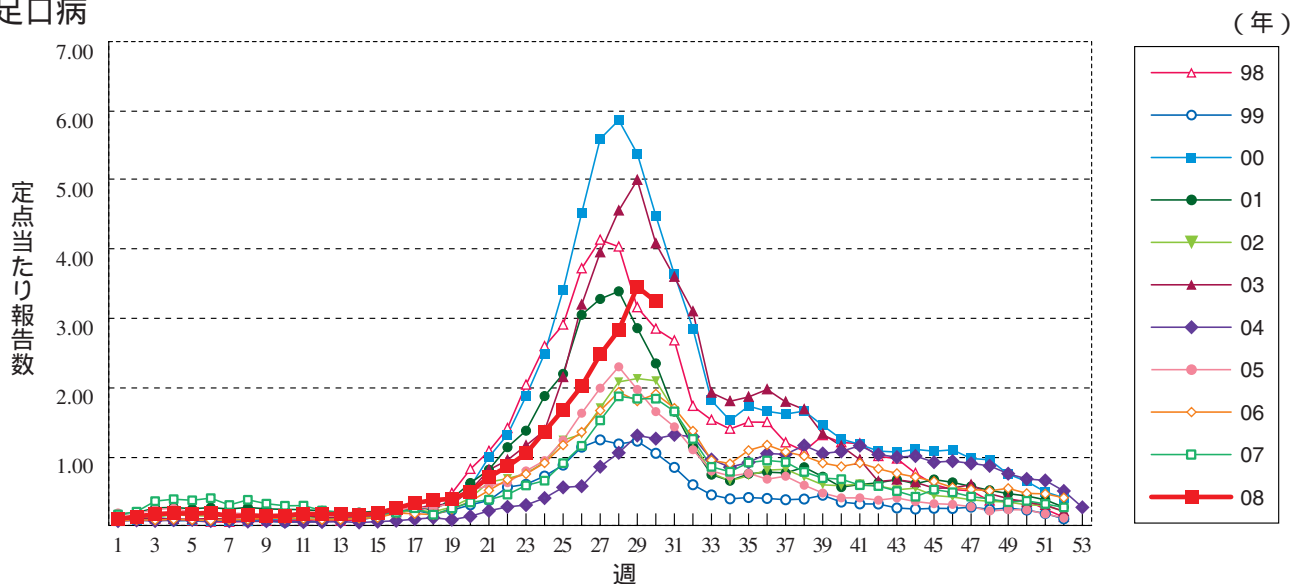
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



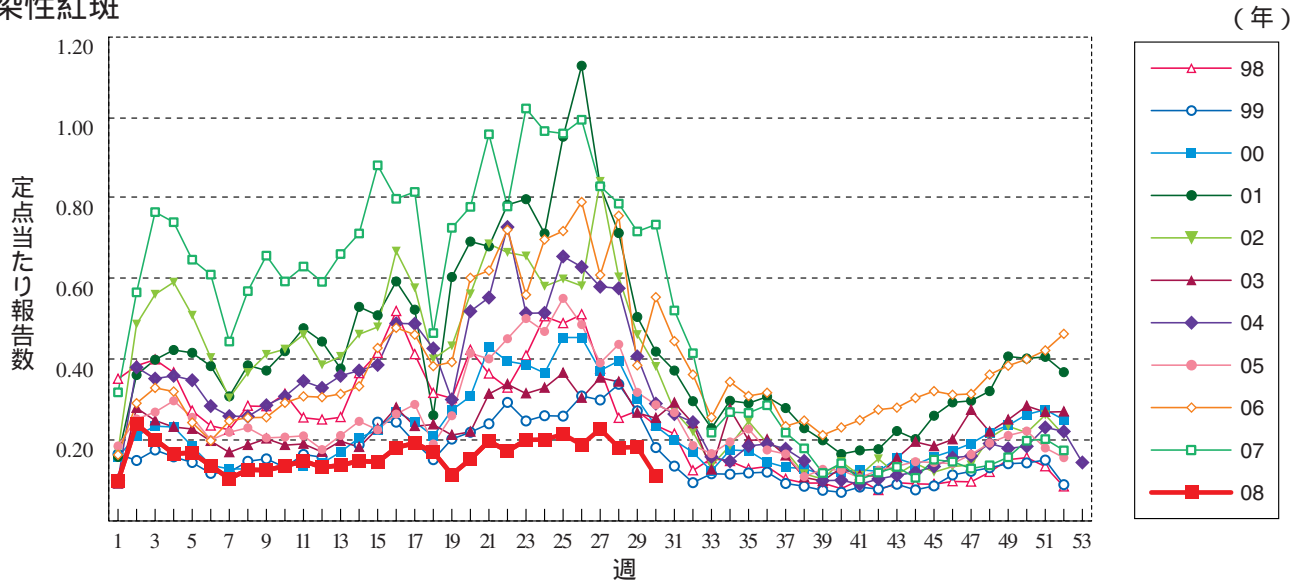
水痘



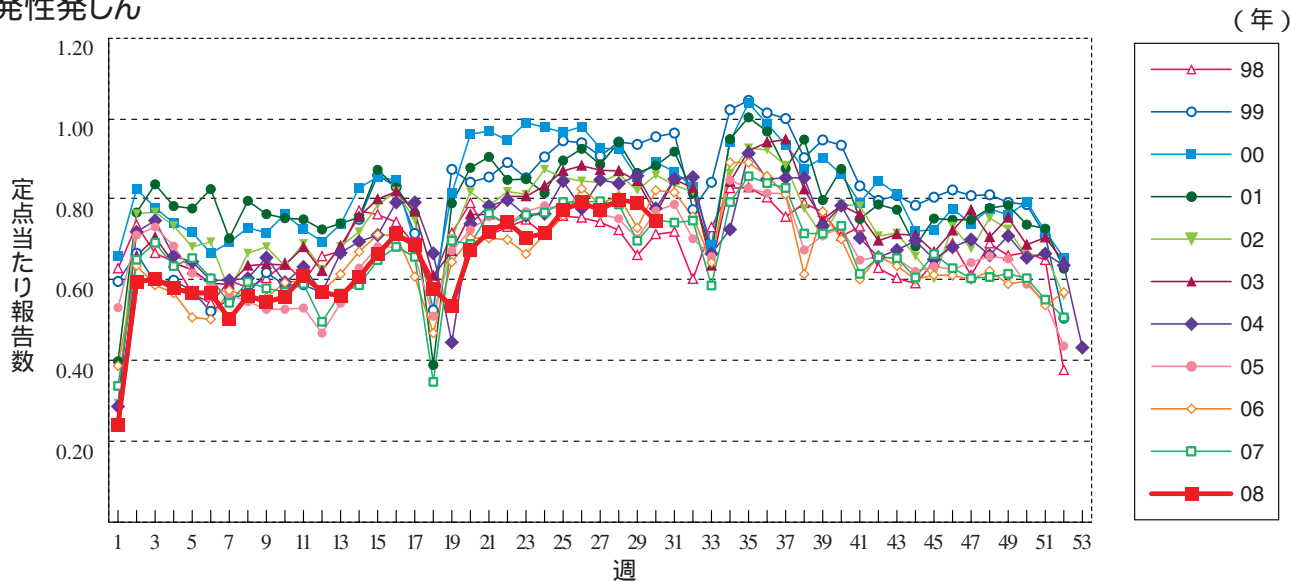
手足口病



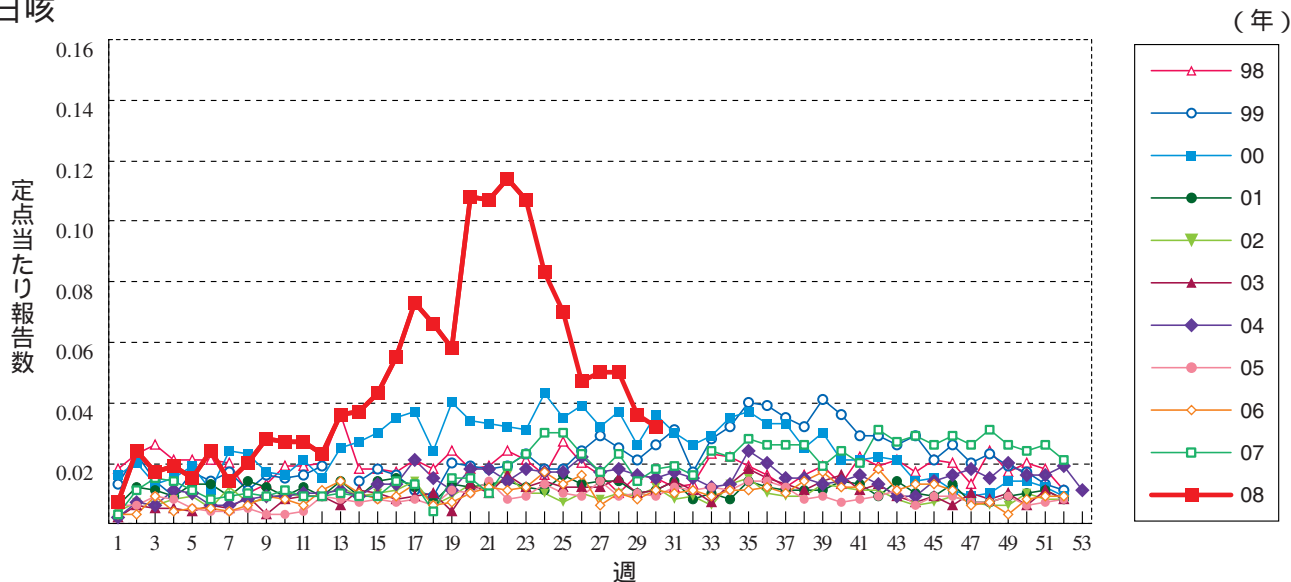
伝染性紅斑



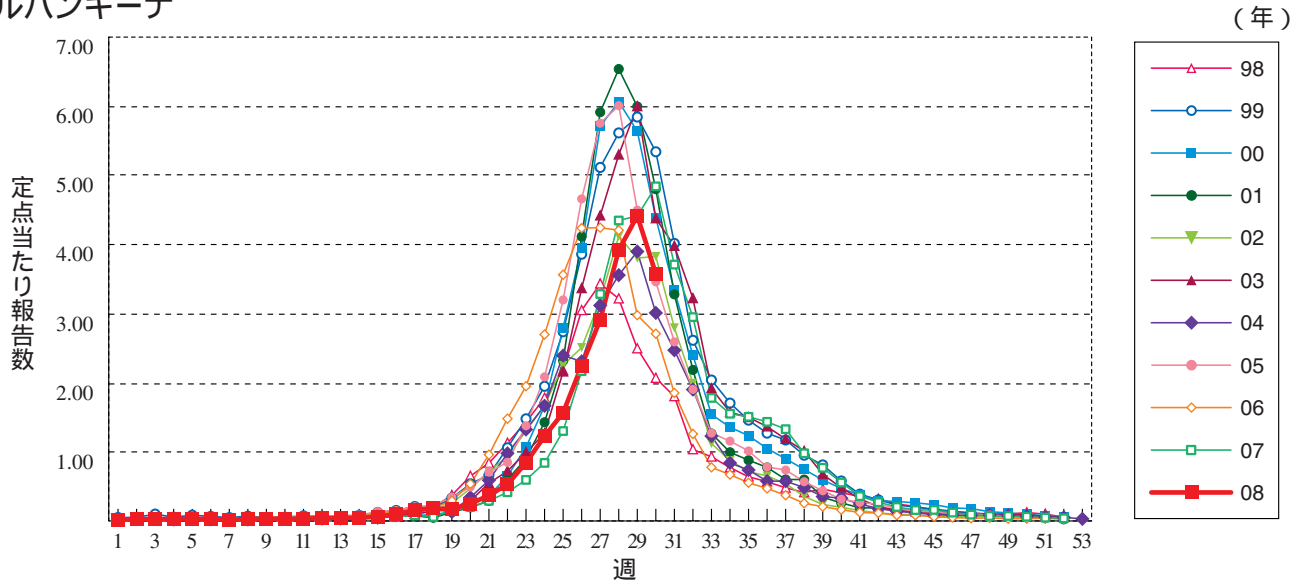
突発性発しん



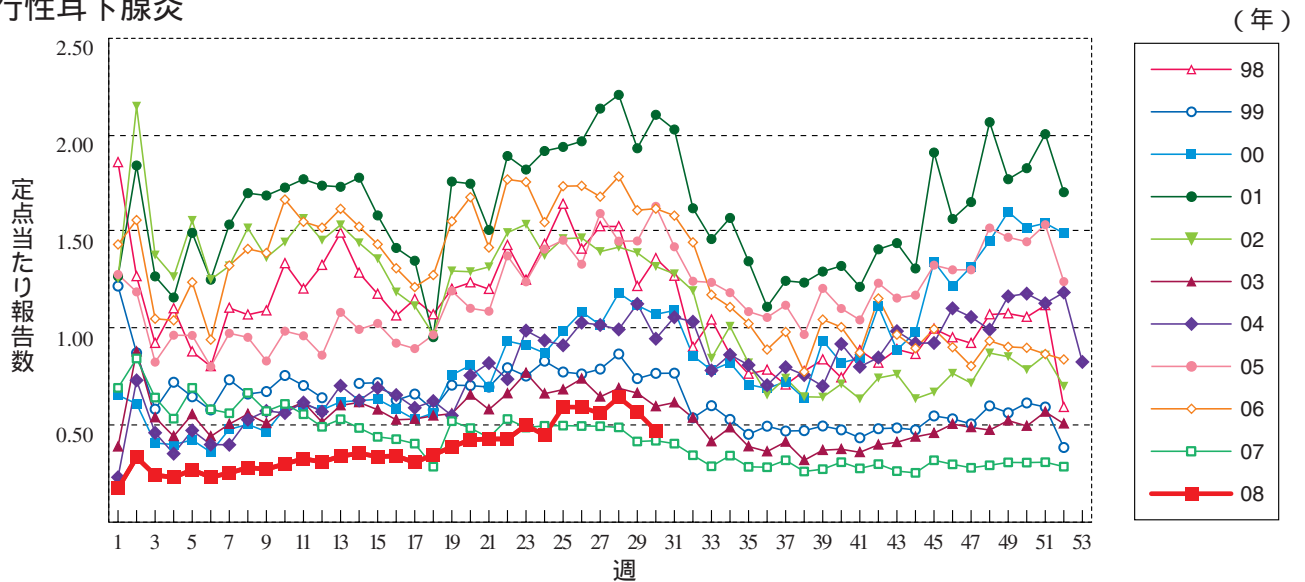
百日咳



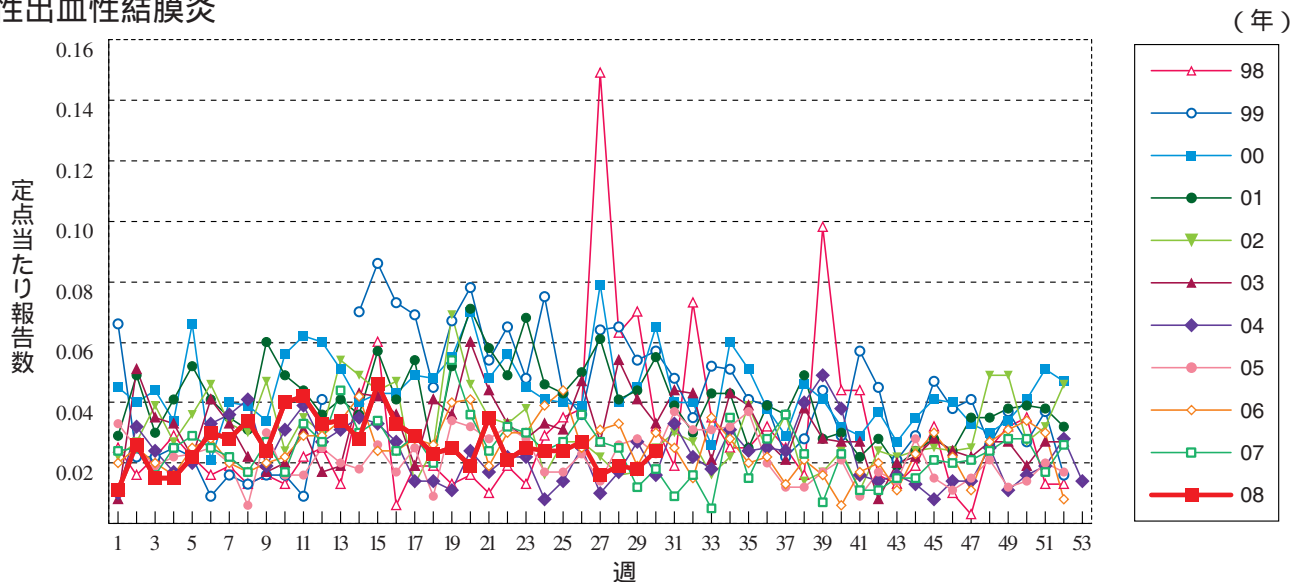
ヘルパンギーナ



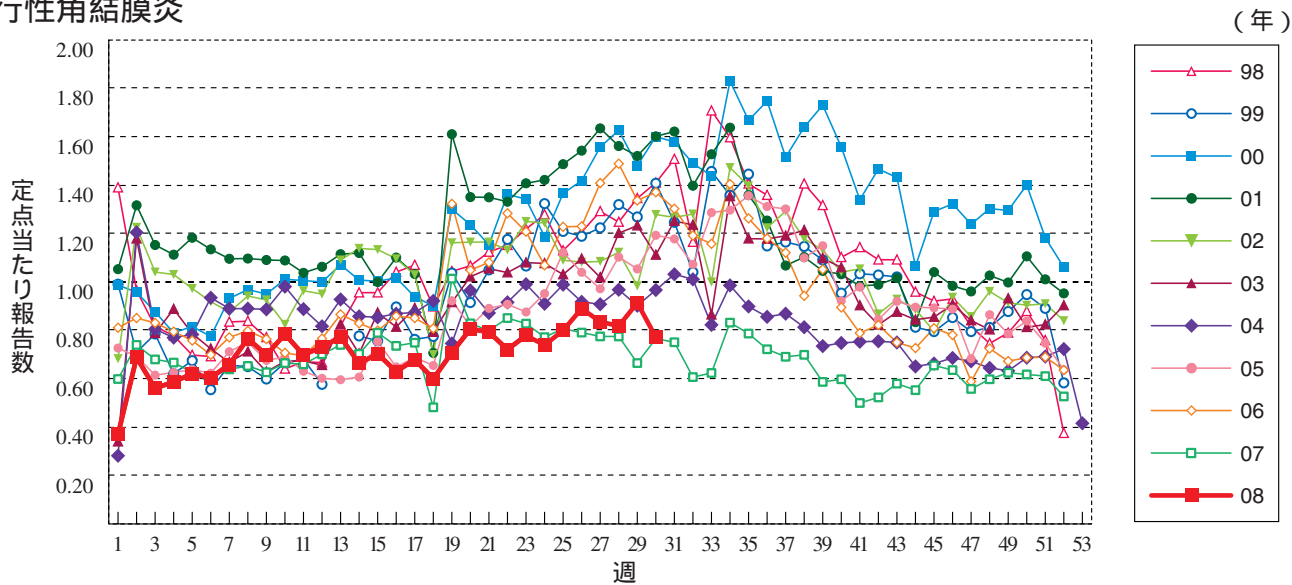
流行性耳下腺炎



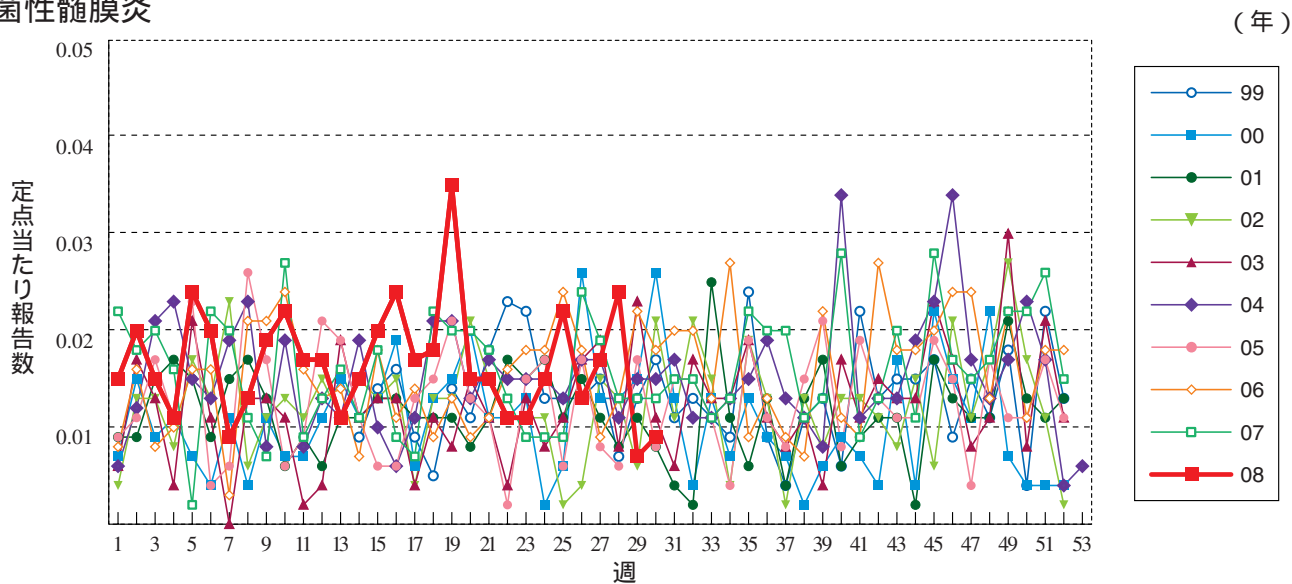
急性出血性結膜炎



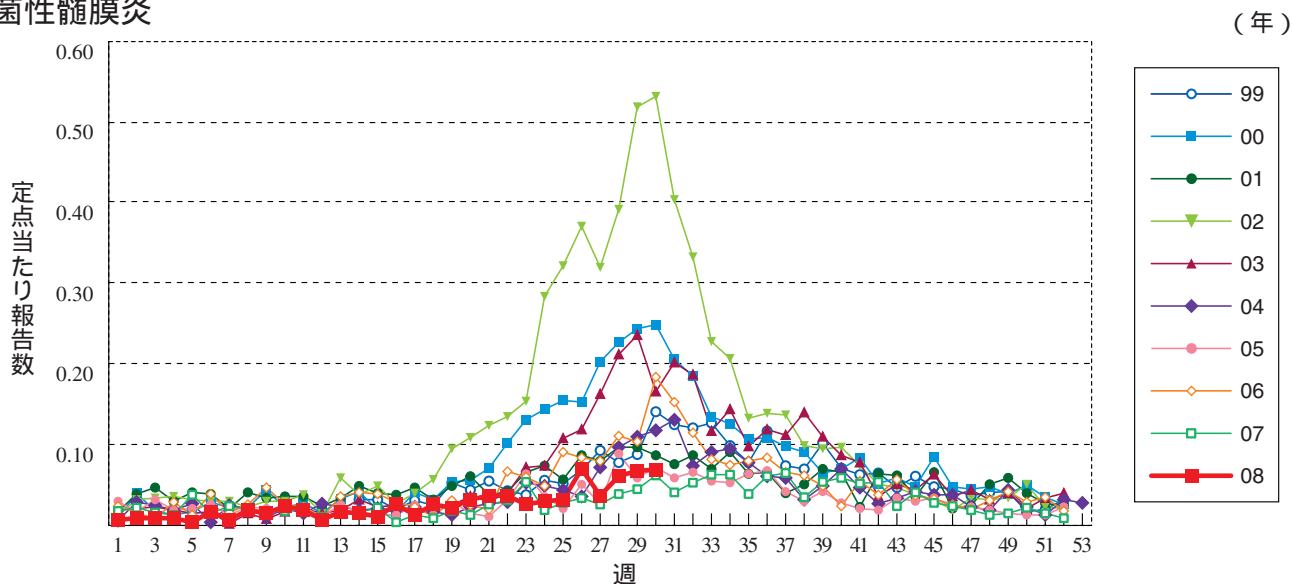
流行性角結膜炎



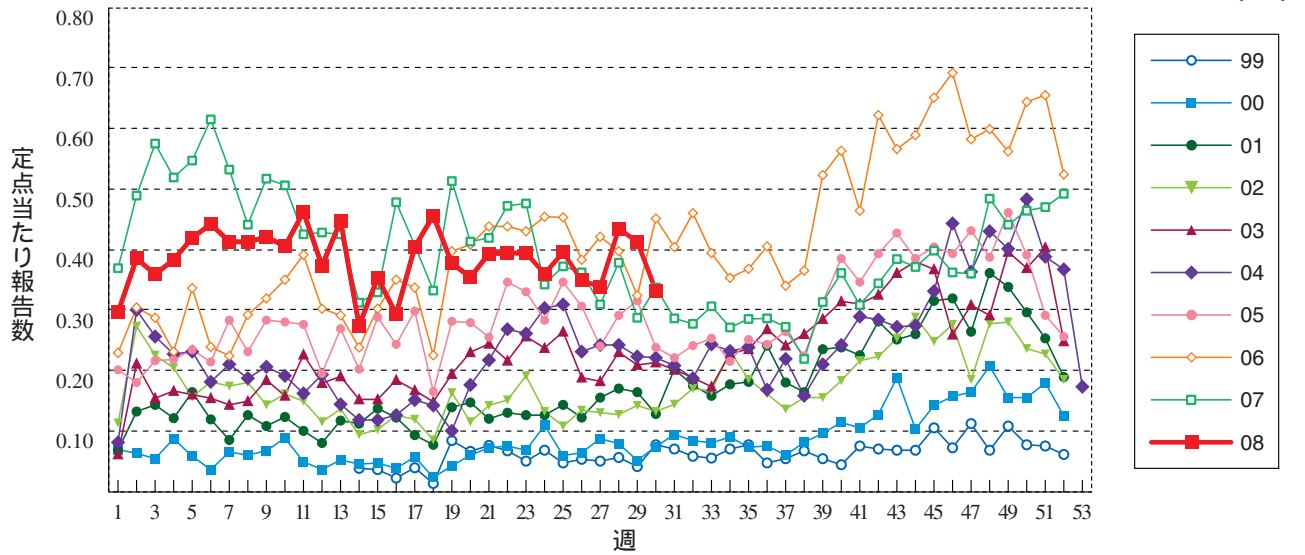
細菌性髄膜炎



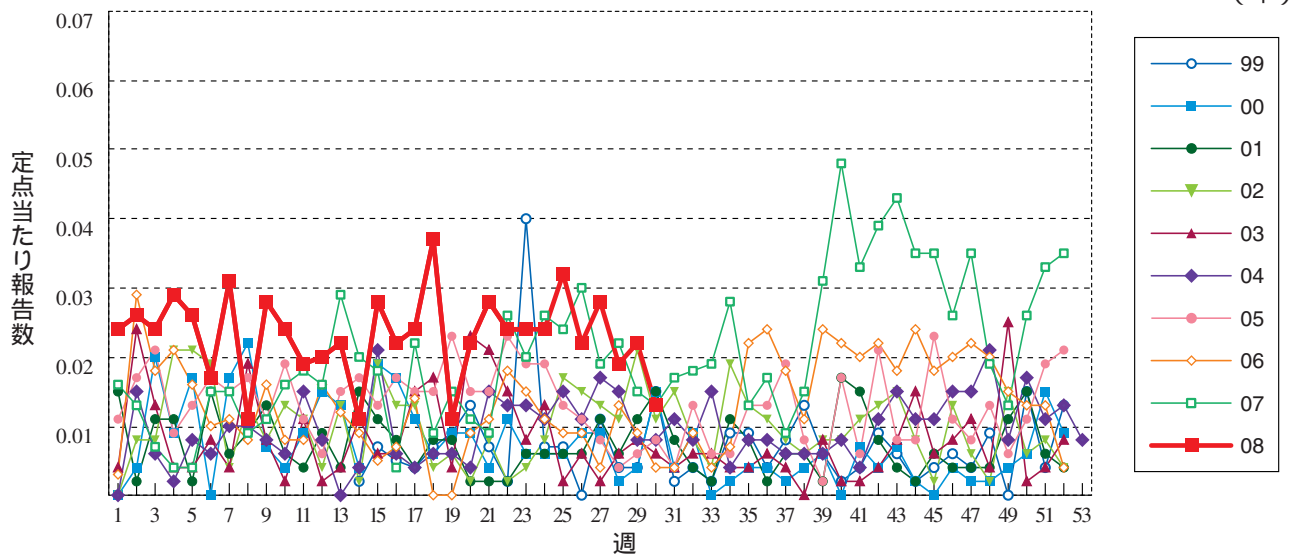
無菌性髄膜炎



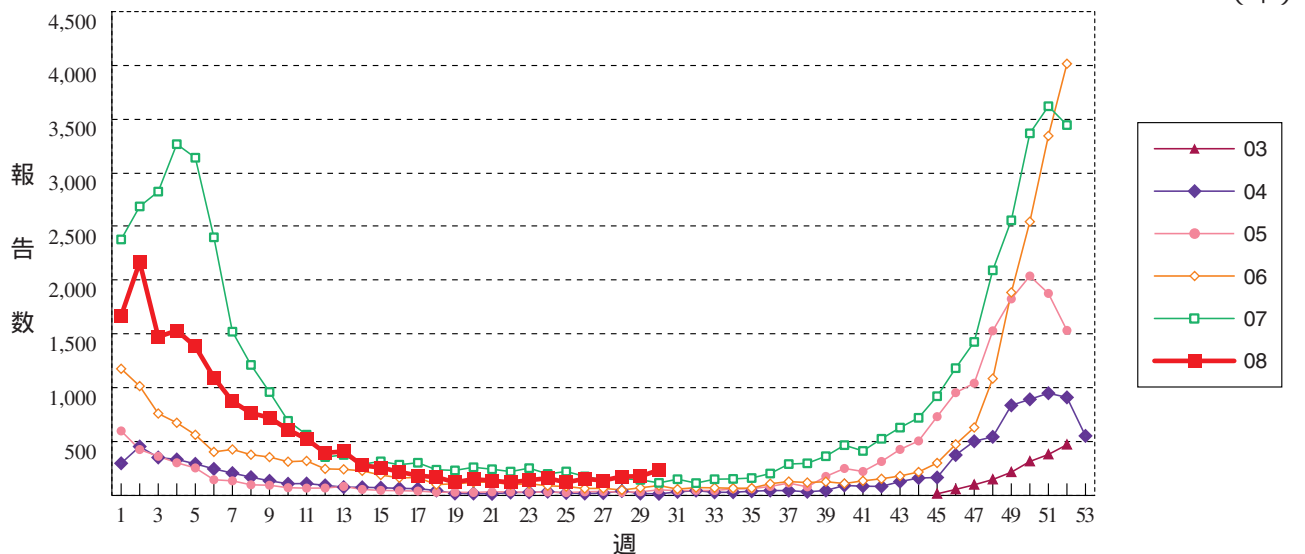
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





30週のデータ

注) 表中の報告数は7月30日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年30週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	231	14622
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	369
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	289
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	108
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	221
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	92
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	123
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	164
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	184
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	103
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	695
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	792
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38	2302
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	718
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	205
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	121
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	102
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	79
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	166
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	255
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	345
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	1095
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	221
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	158
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	347
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	907
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	541
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	216
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	177
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	85
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	181
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	346
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	166
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	125
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	104
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	145
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	95
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	683
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	102
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	243
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	154
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	173
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	218
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	167

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年30週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	26	14	165	117	1533	2	30	1	20	-	29
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	18	-	2	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	20	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	23	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	39	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	36	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	13	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	7	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	32	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	11	-	6	4	26	-	5	-	1	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	1	53	-	-	-	3	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	3	1	37	7	104	-	6	-	4	-	5
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	2	15	5	82	1	4	-	3	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	18	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	54	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	42	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	32	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	5	26	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	53	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	37	-	2	1	2	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	5	67	-	1	-	1	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	18	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	75	-	3	-	4	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	8	89	1	1	-	2	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	8	59	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	1	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	31	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	35	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	23	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	10	19	8	86	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	85	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	45	-	1	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	30	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年30週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	5	106	-	7	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年30週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	119	1	36
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	14
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年30週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年30週

	ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	2	25	-	4	-	3	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年30週

	類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	7	473	-	1	-	-	10	483	-	128	1	109	-	3	-	91
北海道	-	-	-	13	-	-	-	-	-	11	-	1	-	8	-	-	-	1
青森県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	1	18	-	-	-	-	1	5	-	2	-	1	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-
福島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	6	-	1	-	6	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	5	-	5	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	2	29	-	-	-	-	-	16	-	3	-	4	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	13	-	-	-	-	-	19	-	2	-	4	-	-	-	3
東京都	-	-	-	41	-	-	-	-	2	103	-	22	-	5	-	2	-	11
神奈川県	-	-	-	22	-	1	-	-	-	46	-	5	-	5	-	-	-	11
新潟県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	1
富山県	-	-	-	9	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1
長野県	-	-	-	19	-	-	-	-	-	9	-	5	-	2	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	20	-	-	-	-	-	11	-	-	-	2	-	-	-	5
愛知県	-	-	1	32	-	-	-	-	1	31	-	8	-	7	-	-	-	5
三重県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	1	17	-	-	-	-	-	16	-	2	-	1	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	41	-	-	-	-	-	58	-	16	-	19	-	1	-	8
兵庫県	-	-	-	25	-	-	-	-	1	22	-	12	-	5	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	3	-	5	-	5	-	-	-	4
広島県	-	-	1	18	-	-	-	-	-	6	-	7	-	2	-	-	-	1
山口県	-	-	-	2	-	-	-	-	1	6	-	-	-	1	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	3	-	-	-	-	2	7	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	20	-	9	-	3	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5	-	-	-	2
大分県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	1	4	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年30週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	72	8	830	-	45	-	10	-	-	5	466	3	61	-	-	-	48
北海道	-	1	-	14	-	1	-	1	-	-	-	8	-	5	-	-	-	4
青森県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
福島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	3	-	21	-	1	-	1	-	-	-	18	-	3	-	-	-	5
千葉県	-	2	-	31	-	5	-	1	-	-	-	15	1	2	-	-	-	-
東京都	-	13	2	307	-	16	-	2	-	-	1	108	-	3	-	-	-	10
神奈川県	-	4	1	47	-	7	-	-	-	-	-	18	-	3	-	-	-	6
新潟県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1
富山県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	1	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	1
静岡県	-	2	-	15	-	-	-	-	-	-	-	27	-	2	-	-	-	4
愛知県	-	4	-	63	-	1	-	-	-	-	-	36	-	6	-	-	-	4
三重県	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	1	9	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
京都府	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	6	-	104	-	5	-	1	-	-	-	36	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	7	1	21	-	1	-	1	-	-	1	10	-	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	9	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1
広島県	-	2	-	12	-	2	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	1
徳島県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
香川県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	17	-	1	-	-	-	-	2	50	-	1	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	1
大分県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
鹿児島県	-	3	-	5	-	-	-	1	-	-	1	4	1	3	-	-	-	-
沖縄県	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2008年30週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	247	53	10442
北海道	-	10	2	1434
青森県	-	1	-	60
岩手県	-	2	-	9
宮城県	-	3	1	20
秋田県	-	1	-	157
山形県	-	-	-	15
福島県	-	2	-	21
茨城県	-	4	1	83
栃木県	-	4	-	35
群馬県	-	1	-	81
埼玉県	-	7	4	367
千葉県	-	8	8	989
東京都	-	31	6	1110
神奈川県	-	28	14	3432
新潟県	-	-	-	39
富山県	-	3	-	7
石川県	-	-	-	7
福井県	-	-	-	17
山梨県	-	-	1	12
長野県	-	13	-	56
岐阜県	-	1	-	18
静岡県	-	16	1	230
愛知県	-	3	3	189
三重県	-	5	-	41
滋賀県	-	1	2	36
京都府	-	1	1	181
大阪府	-	18	2	354
兵庫県	-	13	4	122
奈良県	-	2	-	11
和歌山県	-	2	1	36
鳥取県	-	-	-	6
島根県	-	1	-	4
岡山県	-	13	-	128
広島県	-	12	-	146
山口県	-	-	-	17
徳島県	-	1	-	3
香川県	-	1	-	10
愛媛県	-	1	1	18
高知県	-	1	-	5
福岡県	-	21	-	660
佐賀県	-	-	-	6
長崎県	-	3	-	32
熊本県	-	7	-	87
大分県	-	2	-	90
宮崎県	-	1	-	8
鹿児島県	-	2	1	22
沖縄県	-	1	-	31

*鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年30週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	84	0.02	2560	0.85	3367	1.11	8805	2.92	2872	0.95	9784	3.24	336	0.11	2256	0.75	97	0.03
北海道	1	0.00	101	0.71	202	1.42	180	1.27	145	1.02	216	1.52	19	0.13	77	0.54	1	0.01
青森県	-	-	29	0.69	22	0.52	53	1.26	38	0.90	16	0.38	7	0.17	18	0.43	-	-
岩手県	1	0.02	8	0.20	44	1.10	79	1.98	51	1.28	11	0.28	8	0.20	22	0.55	-	-
宮城県	-	-	14	0.23	47	0.78	223	3.72	73	1.22	97	1.62	14	0.23	61	1.02	1	0.02
秋田県	-	-	13	0.37	45	1.29	85	2.43	23	0.66	37	1.06	6	0.17	13	0.37	2	0.06
山形県	-	-	11	0.37	52	1.73	93	3.10	28	0.93	43	1.43	9	0.30	28	0.93	-	-
福島県	1	0.01	31	0.65	53	1.10	86	1.79	47	0.98	60	1.25	9	0.19	44	0.92	1	0.02
茨城県	-	-	44	0.59	111	1.48	105	1.40	79	1.05	63	0.84	12	0.16	46	0.61	2	0.03
栃木県	-	-	22	0.46	45	0.94	73	1.52	46	0.96	35	0.73	3	0.06	44	0.92	1	0.02
群馬県	-	-	50	0.81	40	0.65	193	3.11	62	1.00	348	5.61	5	0.08	40	0.65	2	0.03
埼玉県	2	0.01	175	1.12	249	1.60	478	3.06	202	1.29	293	1.88	27	0.17	122	0.78	3	0.02
千葉県	1	0.01	88	0.69	197	1.55	351	2.76	198	1.56	283	2.23	29	0.23	96	0.76	9	0.07
東京都	4	0.01	230	1.56	126	0.86	505	3.44	99	0.67	253	1.72	13	0.09	89	0.61	3	0.02
神奈川県	-	-	179	0.88	268	1.31	532	2.61	196	0.96	1204	5.90	31	0.15	189	0.93	7	0.03
新潟県	-	-	102	1.70	60	1.00	88	1.47	60	1.00	202	3.37	23	0.38	46	0.77	1	0.02
富山県	-	-	21	0.72	32	1.10	108	3.72	32	1.10	247	8.52	-	-	16	0.55	-	-
石川県	1	0.02	8	0.28	22	0.76	50	1.72	12	0.41	274	9.45	12	0.41	20	0.69	-	-
福井県	-	-	6	0.27	26	1.18	120	5.45	39	1.77	27	1.23	-	-	15	0.68	1	0.05
山梨県	-	-	7	0.29	11	0.46	33	1.38	16	0.67	9	0.38	1	0.04	8	0.33	-	-
長野県	2	0.02	44	0.80	75	1.36	162	2.95	82	1.49	462	8.40	13	0.24	32	0.58	5	0.09
岐阜県	-	-	18	0.35	19	0.37	88	1.69	33	0.63	101	1.94	1	0.02	15	0.29	2	0.04
静岡県	3	0.02	88	1.02	139	1.62	347	4.03	63	0.73	683	7.94	6	0.07	81	0.94	5	0.06
愛知県	4	0.02	88	0.49	255	1.41	468	2.59	150	0.83	592	3.27	7	0.04	130	0.72	7	0.04
三重県	-	-	20	0.44	61	1.36	201	4.47	30	0.67	448	9.96	2	0.04	35	0.78	2	0.04
滋賀県	1	0.02	18	0.55	20	0.61	96	2.91	29	0.88	57	1.73	3	0.09	18	0.55	-	-
京都府	1	0.01	47	0.64	44	0.60	189	2.59	34	0.47	276	3.78	-	-	29	0.40	-	-
大阪府	-	-	205	1.08	307	1.62	580	3.07	197	1.04	604	3.20	14	0.07	132	0.70	11	0.06
兵庫県	-	-	67	0.52	87	0.67	393	3.05	105	0.81	419	3.25	6	0.05	100	0.78	3	0.02
奈良県	-	-	29	0.83	11	0.31	79	2.26	16	0.46	165	4.71	2	0.06	14	0.40	-	-
和歌山県	-	-	13	0.42	24	0.77	102	3.29	35	1.13	6	0.19	-	-	25	0.81	1	0.03
鳥取県	-	-	13	0.68	33	1.74	77	4.05	7	0.37	28	1.47	1	0.05	12	0.63	1	0.05
島根県	-	-	5	0.22	15	0.65	82	3.57	19	0.83	34	1.48	3	0.13	20	0.87	1	0.04
岡山県	-	-	27	0.50	18	0.33	200	3.70	27	0.50	150	2.78	13	0.24	26	0.48	3	0.06
広島県	-	-	84	1.18	65	0.92	180	2.54	66	0.93	175	2.46	8	0.11	58	0.82	2	0.03
山口県	-	-	32	0.64	87	1.74	175	3.50	74	1.48	186	3.72	-	-	57	1.14	1	0.02
徳島県	-	-	17	0.74	18	0.78	40	1.74	23	1.00	48	2.09	-	-	19	0.83	-	-
香川県	-	-	29	1.04	16	0.57	104	3.71	10	0.36	79	2.82	2	0.07	20	0.71	-	-
愛媛県	-	-	83	2.24	31	0.84	152	4.11	67	1.81	60	1.62	1	0.03	53	1.43	3	0.08
高知県	-	-	26	0.87	7	0.23	82	2.73	16	0.53	20	0.67	-	-	18	0.60	-	-
福岡県	-	-	158	1.32	158	1.32	609	5.08	137	1.14	284	2.37	2	0.02	116	0.97	6	0.05
佐賀県	-	-	27	1.17	16	0.70	42	1.83	20	0.87	62	2.70	-	-	38	1.65	-	-
長崎県	-	-	14	0.32	27	0.61	82	1.86	33	0.75	99	2.25	8	0.18	23	0.52	1	0.02
熊本県	-	-	32	0.67	32	0.67	168	3.50	46	0.96	134	2.79	-	-	45	0.94	-	-
大分県	-	-	50	1.39	56	1.56	207	5.75	41	1.14	294	8.17	8	0.22	43	1.19	1	0.03
宮崎県	-	-	43	1.19	43	1.19	206	5.72	21	0.58	241	6.69	3	0.08	54	1.50	1	0.03
鹿児島県	-	-	135	2.45	44	0.80	220	4.00	35	0.64	316	5.75	2	0.04	33	0.60	2	0.04
沖縄県	62	1.07	9	0.26	7	0.21	39	1.15	10	0.29	43	1.26	3	0.09	16	0.47	5	0.15

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年30週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	10803	3.58	1426	0.47	16	0.02	520	0.77	4	0.01	32	0.07	154	0.33	6	0.01	237	
北海道	243	1.71	14	0.10	-	-	13	0.45	-	-	-	-	5	0.22	-	-	23	
青森県	142	3.38	3	0.07	-	-	11	1.00	-	-	-	-	6	1.00	-	-	1	
岩手県	171	4.28	7	0.18	-	-	18	1.29	-	-	-	-	10	0.50	-	-	1	
宮城県	334	5.57	19	0.32	4	0.33	2	0.17	-	-	-	-	13	1.08	-	-	5	
秋田県	115	3.29	28	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	177	5.90	16	0.53	-	-	2	0.25	-	-	2	0.20	4	0.40	-	-	1	
福島県	214	4.46	6	0.13	-	-	7	0.58	-	-	-	-	9	1.29	4	0.57	12	
茨城県	244	3.25	4	0.05	-	-	37	2.18	-	-	-	-	4	0.31	-	-	1	
栃木県	195	4.06	22	0.46	-	-	10	0.83	-	-	-	-	5	0.71	-	-	2	
群馬県	311	5.02	56	0.90	1	0.07	43	3.07	1	0.13	-	-	9	1.13	-	-	1	
埼玉県	952	6.10	84	0.54	-	-	19	0.45	-	-	-	-	5	0.56	-	-	4	
千葉県	623	4.91	50	0.39	1	0.03	29	0.91	-	-	1	0.11	1	0.11	-	-	3	
東京都	642	4.37	119	0.81	2	0.05	19	0.50	-	-	1	0.04	3	0.13	-	-	1	
神奈川県	1074	5.26	66	0.32	1	0.03	42	1.05	-	-	1	0.13	-	-	-	-	4	
新潟県	90	1.50	19	0.32	-	-	3	0.27	-	-	-	-	2	0.17	-	-	6	
富山県	96	3.31	2	0.07	-	-	5	0.71	-	-	-	-	6	1.20	-	-	1	
石川県	38	1.31	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
福井県	57	2.59	11	0.50	-	-	-	-	-	-	1	0.17	1	0.17	-	-	-	
山梨県	29	1.21	2	0.08	-	-	2	0.22	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-	
長野県	492	8.95	8	0.15	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-	7	
岐阜県	107	2.06	61	1.17	-	-	4	0.36	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	
静岡県	355	4.13	39	0.45	-	-	12	0.60	1	0.11	-	-	3	0.33	-	-	4	
愛知県	755	4.17	132	0.73	1	0.03	5	0.15	-	-	-	-	4	0.27	1	0.07	2	
三重県	210	4.67	27	0.60	-	-	2	0.17	-	-	-	-	1	0.11	-	-	1	
滋賀県	166	5.03	37	1.12	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.57	-	-	-	
京都府	121	1.66	14	0.19	-	-	8	0.44	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
大阪府	742	3.93	83	0.44	2	0.04	17	0.35	-	-	-	-	10	0.77	-	-	22	
兵庫県	513	3.98	46	0.36	1	0.03	23	0.66	-	-	3	0.25	1	0.08	-	-	-	
奈良県	114	3.26	17	0.49	-	-	5	0.56	-	-	3	0.50	-	-	-	-	-	
和歌山県	72	2.32	15	0.48	1	0.25	8	2.00	-	-	-	-	8	0.73	-	-	5	
鳥取県	29	1.53	14	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	
島根県	33	1.43	2	0.09	-	-	3	1.00	-	-	1	0.13	4	0.50	-	-	1	
岡山県	87	1.61	10	0.19	-	-	2	0.17	-	-	-	-	2	0.40	1	0.20	-	
広島県	161	2.27	17	0.24	-	-	29	1.53	-	-	-	-	2	0.10	-	-	-	
山口県	103	2.06	20	0.40	-	-	3	0.33	1	0.11	-	-	1	0.11	-	-	4	
徳島県	108	4.70	6	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40	-	-	2	
香川県	74	2.64	1	0.04	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
愛媛県	250	6.76	21	0.57	-	-	26	3.25	-	-	2	0.33	-	-	-	-	-	
高知県	31	1.03	35	1.17	-	-	3	1.00	1	0.14	-	-	1	0.14	-	-	-	
福岡県	175	1.46	116	0.97	-	-	17	0.65	-	-	1	0.07	2	0.13	-	-	71	
佐賀県	34	1.48	59	2.57	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17	-	-	-	
長崎県	24	0.55	14	0.32	2	0.25	7	0.88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	92	1.92	22	0.46	-	-	42	4.67	-	-	6	0.40	1	0.07	-	-	-	
大分県	77	2.14	7	0.19	-	-	8	1.60	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	
宮崎県	77	2.14	59	1.64	-	-	7	1.17	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	
鹿児島県	48	0.87	11	0.20	-	-	6	0.86	-	-	6	0.50	3	0.25	-	-	3	
沖縄県	6	0.18	5	0.15	-	-	14	1.40	-	-	-	-	18	2.57	-	-	43	

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年30週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	21	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2008年30週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第10巻 第30号 2008年8月8日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。